

第六十七回帝國議會
衆議院

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル臨時利得稅法案(政府提出))
日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)
國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)
提出
造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)
東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)
日本銀行金買入法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十年二月六日(水曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彥君

理事松村 光三君 理事岡田喜久治君

理事中村 繼男君

廣瀬 爲久君

小笠原三九郎君

太田 正孝君 上田 孝吉君

玉置吉之祿君 大山斐瑳磨君

森田 福市君 綾部健太郎君

山本 厚三君 後藤 亮一君

前田房之助君 小川郷太郎君

矢野庄太郎君 堤 康次郎君

中島彌團次君 龜井貫一郎君

同月五日委員伊豆富人君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ栗原彦三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月六日委員堤康次郎君辭任ニ付其ノ補闕

トシテ中島彌團次君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 岡田 啓介君

大藏大臣 高橋 是清君

陸軍大臣 林 銑十郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 吉田 茂君

法制局長官 金森德次郎君

外務參與官 松本 忠雄君

外務省文化事業部長 岡田 兼一君

外務書記官 岡本 季正君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏參與官 豐田 收君

大藏省主計局長 賀屋 興宣君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏省理財局長 青木 一男君

大藏省外國爲替管理部長 和田 正彥君

大藏書記官 入間野武雄君

大藏書記官 廣瀬 豐作君

大藏書記官 山田 龍雄君

大藏書記官 入江 昂君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

陸軍少將 永田 鐵山君

陸軍一等主計正 大城戸仁輔君

拓務政務次官 櫻井兵五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル

爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲

事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關

スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提

出)

○岡田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、

材料ノ要求ガアリマスカラ矢野君ニ許シマ

ス

○矢野委員 材料ノ要求ヲ致シマス

一、昭和九年十二月現在國債利率別ニ依

ル据置期間經過セルモノト經過シナイモノ

トノ區別、是ハ豫算委員會デ材料ヲ要求シ

タ方ガアリマシテ、出テ居リマシタケレド

モ、利率別ニ依ルモノガアリマセヌノデ、

此利率別ニ依ルモノガ欲シイノデアリマス

二、昭和四年以降各年末ニ於ケル普通銀

行、貯蓄銀行、特別銀行(日銀ヲ除ク)信

託會社ノ預金、貸出、國債所有高竝ニ預金

ニ對スル國債所有高ノ百分比調(國債ニハ

大藏省證券及米穀證券ヲ除ク)

三、昭和九年末國債所有者別、例ヘバ銀

行、信託、保險、其他會社、個人等

四、昭和四年以降、政府借入金ノ借入、

支拂及國債組替月別調(數額)

五、戰時利得稅法關係法令(大正七年實

施ノモノ)

六、臨時利得稅法類似ノ外國立法例

七、戰時利得稅、臨時利得稅要領對照、

是ハ大正七年實施セルモノト、今回施行セ

ントスルモノトノ要領ヲ對照シテ欲シイノ

デアリマス

八、現行所得稅、營業收益稅關係法令其

他ノ法令ニ依リ免稅セラル、事業種別――

免稅セラル、事業種別ガ欲シイノデアリマ

ス

九、右事業ヲ營ム會社ノ昭和四年乃至九

年度上半年ノ各事業年度ニ於ケル資本金

額、積立金額、繰越金額、利益金額、配當

金額調

十、陸軍及海軍ガ軍需品ヲ注文セル會社

名調

十一、昭和五年以降各事業年度ニ於ケル

軍需品製造會社ノ拂込資本金額、積立金額、

繰越金額、利益金額及配當金額

十二、今度ノ臨時利得稅法案ニ依リ課稅

サルベキ法人及個人ノ數、之ヲ左記甲、乙、

丙、丁ニ付テ欲シイノデス

(甲) 重要商工業都市及地方別

(乙) 東京、大阪、京都、神戸、福岡、横

濱等ニ於テハ各區別

(丙) 法人ニ於テハ、資本金一萬圓以上ノ

モノニ付キ左記標準ニ依リ業態別、社名

ヲ舉ゲテ欲シイノデス

(一) 資本金一萬圓以上十萬圓迄、業態

別トソレカラ社數

(二) 同上十萬圓以上二十萬圓迄、二十

萬圓以上三十萬圓迄、三十萬圓以上四

十萬圓迄、四十萬圓以上五十萬圓迄同

上

(三) 資本金五十萬圓以上ノ法人ニ於テ

ハ事業名及社名

(丁) 個人ニ於テハ各地方別營業種別ニシ

テ被課稅者ノ員數

十三、大正元年以降大正十二年迄ノ法人

拂込資本金額、積立金額、繰越金額ノ合計

ニ對スル收益率表、是ハ可ナリ面倒ト思ヒ

マスガ、法人ノ業態別デ標準的ノモノヲ取ッ

テ欲シイノデアリマス

十四、昭和五年以降昭和九年迄ノ同上

十五、大正元年度以降昭和九年度迄ノ各

年度毎ノ法人ノ所得表

十六、法人所得稅ニ付テ大正元年ヨリ昭

和九年迄ノ左ノ表ヲ求ム

(イ) 普通所得稅ノ歳入豫算額及決算額

(ロ) 超過所得稅ノ同上(實施以後最近迄)

(ハ) 戰時所得稅ノ同上(實施期間中ハ勿

論廢止後ニ於ケル決算)

十七、臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケヌ法人デ

資本金五十萬圓以上ノモノ、收益率表(昭

和五六年ト昭和九年ヲ比較セルモノ)以上

デアリマス

○石渡政府委員 只今御要求ニナリマシタ

書類ニ付キマシテハ、出來ルダケ調整致シ

タイト思ヒマスガ、中ニハ可ナリ複雑ナモ

ノモアルノデゴザイマスカラ、出來ルダケ

急ギハ致シマスガ、速急ノ間ニ合ヒ兼ネル

カモ知レマセヌガ、其點ハ御含ミ置キ願ヒ

マス、尙ホ一言御斷リ致シテ置キタイト思

ヒマスガ、社名トカ、斯ウ云フ會社ハ幾ラ

稅金ヲ納メル見込カ、又各個人ノ納稅ニ付

キマシテハ、是ハ從來モ發表致シタ事ハゴ

ザイマセヌノデ、是ハ差控ヘタ方ガ宜イカ

ト思ヒマスガ、其點ニ付キマシテハ、尙ホ一應能ク私共モ考慮ヲ致シテ置キマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岡田委員長 矢野君、今ノ點ニ付テ別ニ御發言ハアリマセヌカ

○矢野委員 アリマセヌ

○岡田委員長 尙ホ委員長カラ申シマスガ、昨日大口君ノ國防費ニ關スル質問ニ對シテハ、政府ニ確定的ノ御返事ヲ求メテ置イタコトニナツテ居リマス、岡田總理大臣ガ爲サル筈デアリマスガ、マダ御出席ニナリマセヌ、之ヲ留保ノ形デ進メテ行キマス、ソレカラモウ一ツ文化事業ニ付テノ質問モアリマスガ、何レ適當ノ機會ニ發言ヲ許シマスカラ、之ヲ留保致シマス

○森田委員 大藏大臣ニ此臨時利得税法ニ付テ一ツ御尋申上ゲタイト思ヒマス、是ハ本會議デ御尋申上ゲタコトデ、要領ヲ得テ居ルノモゴザイマスガ、要領ヲ得テ居ナイ點ダケヲ御尋申上ゲマス、大體大藏大臣ナリ、總理大臣ノ御答ハ、一ツモ質問ノ要旨ニ當ッテ居ラナカタヤウデアリマス、總理大臣ガ御出マシ次第、總理大臣ニ御尋スルトシテ、大藏大臣ニ御尋致シマス、ソレハ先ヅ第一ニ臨時利得税法ヲ御起シニナツテ趣旨デアリマス、即チ負擔ノ公平ヲ期スル爲デアル

カ、財源ヲ求ムル爲デアルカ、其何レデアルカト云フコトニ付テハ、本會ナリ豫算總會ナリノ質疑應答ハ拜聽致シテ居リマスガ、總理大臣モ其點ハハッキリ致シテ居ラナカタ點モアツタリ、喰違ノ生ジテ居ル點モアリマスガ、尙ホ此點ヲ明ニ一ツ願ヒタイノデアリマス

○高橋國務大臣 臨時利得稅ヲ設ケマシタ趣意ハ、其關係スル所カラ云ヘバ、或ハ收入ヲ圖ツタトモ言ヘマセウシ、又負擔ノ公平ニ關スル事トモ言ヘマセウ、ケレドモ大體此税法ヲ設ケマシタノハ、必ズ之ニ依ッテ此際一般歳入ノ不足ヲ補フト云フヤウナ、サウ云フ眼前ノ目的カラ起ツタモノデモナイ、唯御承知ノ通り今日一方ニ於テハ軍需工業、能ク新聞ナドニ出デ居リマス、是ナドハ非常ニ繁昌シテ莫大ナ利益ヲ得テ居ル、又斯ウ云フモノニ付テハ、課稅スルガ宜イト云フ議論モ隨分アツタノデ、殊ニ唯軍需工業バカリデハナイ、一般ニ増稅ヲシロト云フノハ、主ニ資本家目掛ケテノ議論ガ多カッタ、世ノ中ハ何トナク資本家ト云フカ、有産家對無産家ノ間ニ爭ヲ生ゼサセルヤウナ風潮ニアツタノデアリマス、其處ヘ持テ來テ、如何ニモ軍需工業ト云フモノガ、獨リ目ニ立ツ程ニ繁榮デアル、是等ハ

モウ第一ニ、資本家ノ爲ノ利益ガ多クシテ、他ノ一般ノ中流以下ノ者ハ苦シデ居ルニ拘ラズ、資本家一人ガ利益ヲシテ居ルト云フヤウナ誤ツタ考ヲ、廣ク世ノ中ニ傳ヘルヤウナ風潮ガアツタ、又政府ニ於テ考ヘマシテモ、斯様ナ風潮ハ逸速ク絶ヤサナケレバナラス、誤ツタ考ヲ國民一般ニ有タセルト云フコトハ、政治上カラ考ヘテモ宜シクナイ、而シテ事實ニ於テ軍需ニ關スル工業ノミガ獨リ目立ツ繁榮シテ居ルト云フコトハ、是ハ爭ハレナイ事實デアアル、故ニ之ニ就テ、其營業ガソレガ爲ニ荒レルヤウナ程度ニ至ラナイヤウニ、極ク輕イ稅ヲ課ケテ、サウシテ斯様ニシテ一方ニ於テ之ヲ羨シガッデ僻シデ居ル人達ノ心ヲ、幾分カ之ニ依ッテ直スコトモ出來ラダラウト云フヤウナ考カラ、此稅ヲ設ケタノデアツテ、ソレハモット詳シイコトヲ言ヒタイケレドモ、私ハ是ハ前ノ大藏大臣カラ聽イテ居ルガ、斯ウ云フ席デサウ云フコトヲ赤裸々ニ前大藏大臣ノ意中ヲ打明ケルコトハ、大變宜シクナイト思フ、マア此邊デ御了解ヲ願ッテ置キタイ

○森田委員 大藏大臣ノ御答ニ依ルト、負擔ノ公正ヲ期スル意味デモアリ、一面ニハ財源ヲ求メル爲デアル、即チ兩様ノ意味ニ於テ此稅ヲ設ケタト云フヤウナ御答ニ拜承シタノデアリマス、私ハ本案ト云フモノハ負擔ノ公正ニナラナイデ、一層不公平ニナル、財源ヲ求メルナラバ、三千萬圓ヤ四千萬圓ノ財源ハ他ニ幾多モアルト云フコトニ付テ、一ツ御尋致シタイノデアリマス、本稅ヲ起サユウニナツタ理由ニ付テハ、全ク今ノ大藏大臣ノ御話ノヤウニ、前ノ藤井サンノ御考ニ據ツタモノデアラウト思フノデアリマスガ、ドウ云フ御考デオヤリニナツタカ、マア是ハ分ラス、吾々モ又聽イテ居ルコトガアルガ、是ハ果シテ事實カドウカ分ラスノデアリマスカラ、是ハ別ト致シマシテ、軍需工業方面ガ非常ニ儲ケテ居ルカラ、此方面ニ持ッテ行ッテ利得稅ヲ課スル爲ニ本案ヲ設ケタノガ、根本ノ趣旨デアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、私ハ此税法ヲ施行ノ結果ハ、決シテ負擔ノ公平ニハナラスト思ヒマス、ドウ云フコトデアルカト云ヘバ、此税法ノ非常ニ不公平ナ點ヲ考ヘマスノハ、第一ニ、是ハ大藏大臣モ御承知ダラウト思ヒマス、戰時利得稅ヲ廢スル時ニ、配當所得ニ課稅スルヤウニナツタコトデアリマス、大正十四年ノ稅制ノ整理ノ時デアリマシタカ、キツチリ年限ヲ覺エテ居リマセヌガ、戰時利得稅ヲ廢スル時ニ、配當ヘ持ッテ行ッテ所得稅ヲ課スルヤウニナツタ

コトハ、御承知ノ通りデアリマス、デアルカラ營業ヲシテ居ル所ノ法人ナドハ隨分税金ヲ納メタ、營業收益税及附加税、ソレニ對スル所得税及附加税、超過所得税及附加税ヲ課シ、其税金ヲ取ツた後ノ配當金ヲ貰ウタ者ニ對シテ、又第三種所得税ヲ取ツテ居リマス、個人デ云ウテモ營業收益税及附加税、所得税及附加税ト云フヤウナ風ニ、隨分納メテ居ル、一方私ガ本會議デ申上ゲマシタヤウニ、金融資本家トデモ申シマスカ、株ヲ有ッテ居ル者、銀行預金ヲシテ居ル者、社債、公債ト云フヤウナモノヲ有ッテ居ル人々ハ、國費ノ負擔ハ是等ニ較ベレバ問題ニナラヌ程僅ナモノデアル、御承知ノ通り銀行預金ノ利子デ食ッテ居ル人ハ、百圓ノ利得ニ對シテ僅カ七圓ノ所得税ト附加税シカ納メテ居ラヌデアリマス、今度ノ利得税ノ問題デモ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、營業ヲシテ居ル個人ハ、超過シタ場合ニハ、之ニ依ッテ利得税ヲ取ラレル、然ルニ同ジ個人デアリナガラ、會社ノ重役ヲシテ居ル人間、或ハ會社員デモ同ジコトデアリマスガ、其方面ハ軍需「インフレ」ニ依ッテ會社ノ利得ガ増シテ來レバ、隨テ其賞與金ノ如キモノハ増シテ來ルノデアリマスガ、其賞與金ヲウント貰フ人間ニ

ハ、別ニ利得税ハ課カリマセヌ、然ルニ營業ヲヤッテ居ル者ノ方ハ、少シ殖エテモ利得税ヲ納メナケレバナラヌデアリマス、社債ヤ公債ヲ有ッテ居ル人ハ、單ナル所得税ト、僅ナ資本利子税ヲ納メテ居ルダケデ、サウ云フ方面ニハ今度ハ一ツモ課税ト云フコトニハナッテ居ナイ、營業ヲヤル者ノミ、所謂産業資本家ト云フカ、第一線ニ立ッテ働イテ居ル方面ニノミ、重税ヲ加ヘルト云フコトニナッテ居ルノデアル、個人ノ方面ニハ一向考ガ及ンデ居ラヌ、サウ云フヤウナ金融資本家方面ニハ一ツモ及ンデ居ラヌ、負擔ノ公平ドコロデハナイ、一層不公平ヲ増シテ來ルヤウナ結果ニナルト思フノデアリマス、其點ハ大藏大臣ハドウ御考ニナリマスカ

○高橋國務大臣 先刻御答シタ中ニ、此税ノ關係スル所ハ、負擔ノ均衡ト云フコトニモ論及スレバ及ブコトニナル、色々ナル税法ニ無論關係スルカラ、各方面カラ云ヘバ、色々足リナイ所モアリマセウケレドモ、此税法ヲ起シタ原ガ、負擔ノ公平ヲ期スルノ目的トシタノデハナシ、歳入ヲ圖ルノヲ目的トシタノデモナシ、先刻申ス通り、先ヅ軍需工業ト云フノハ、其一ツヲ舉ゲテ言ウタノデアリマスガ、時局匡救、或ハ爲替

相場ノ低落、サウ云フヤウナ關係デ、營業上特ニ外ノモノト較ベルト、仕合セナ境遇ニアッタモノガ比較的の利益ガ多クアル、其利益ノ中ノ幾分ヲ納メサセル、サウシテ一般的ノ増税論ト云フモノガ、斯ウ云フコトニ依ッテ、幾ラカア、云フ議論ガ治リハセヌカト云フヤウナ考モアッタモノデアラウト思ハレル、今御話ノ問題ハ悉ク御尤デアラウガ、ソレハ一般的ノ税制整理ノ時ニ考慮スル問題デアッテ、此一種特別ノ臨時利得税ヲ設ケタ時ニ於テハ、サウ云フコトヲ深ク考慮スルコトハ出來ナイ場合デアアルカラ……

○森田委員 前回ノ御答ノ時ニハ、負擔ノ公平ヲ期スル爲ナリ、一部ノ財源ヲ求メル爲デアルト云フヤウナ御答ト私ハ拜聴シテ居ッタノデ、今ノ御尋ヲ申上ゲタノデアリマスガ、今大藏大臣ノ御答ニ依ルト、其何レデモナイト云フヤウナ、今度ハ御答ニナッテ居ルノデアリマスガ、唯軍需「インフレ」ニ依ッテ儲ケテ居ル、一部ノサウ云フ會社デアルト云フコトデアッタノデアリマス、サウスルト私ハ大藏大臣ノ御説ノヤウニ、軍需關係工業者方面ナリ、爲替關係ニ依ル貿易關係方面カラノミ、其意味デ御取リニナルト云フコト、或ハ結構デアアルカモ知レマ

セヌガ、此税法ニ依ッテハサウハナラスト思フ、是ハ必ズ貿易關係モ、軍需關係モ、其他ノ商工關係モ、皆此法律ニ依ッテ入ッテ來ルト思フ、此兩者以外ノモノガ入ッテ來ルモノトスレバ、私ハソコニ非常ニ不公平ナ點ガアリハシナイカ、今度ハ税率ヲ一緒ニ爲サッテ居ル關係上、法人ハ其方面カラ論ジテ行クナラバ、此軍需景氣ニモ、貿易ニモ關係ノ全然ナイモノガ、此増税ノ負擔ヲシナケレバナラスト云フコトニナリハシナイカ、即チ個人ノ昭和五六年ニ營業ヲヤッテ居タ時ト今日ノ利益ノ差ヲ比較シテ、其差ニ持ッテ行ッテ一割ヲ課ケルト云フコトニナリマシタナラバ、昭和五六年ニヤッテ居ル自分ノ營業ノ範圍、具體的ニ假説ヲ設ケテ御話申上ゲレバ、昭和五六年頃ニ機屋ガ百臺ノ機ヲ設備シテ打ッテ居タモノガ、今度ハソレヲ倍ニ増設シタ、隨テ利益モ昭和五六年ノ平均ノ倍ニナッタト云フ時ニハ、矢張此方面ニモ利得税ノ一割ヲ課スルコトニナッテ居ルノデアリマス、金ヲ借りテ來タニセヨ、ドウ云フ方法ヲ執ツタニセヨ、本ヲ殖シテ居ル、法人ノ方デ云ヘバ、拂込資本ニ依ッテ、ソレガ緩和サレルコトニナッテ居ルノデアリマス、個人ノ方ハソレガチットモアリマセヌカラ、今大藏大臣ガ御話ニナッ

タヤウニ、軍需「インフレ」ニ依ッテ儲ケタ工業會社、貿易業者ト云フヤウナモノ以外ノ其他ノモノニモ、今申シタヤウニ此法律ハ入ッテ行ク、二者ニ限ッテ居ラス、一般ニ之ヲ適用スルコトニナルノデアリマスカラ、

軍需「インフレ」ニ依リ、爲替ノ下落ニ何等關係ノナイ業者ノ人々ガ、大變負擔シテ行クヤウニナルノデアリマスカラ、今御話ノヤウニ兩者以外ノ者ニモ、此法律ヲ此儘適用シテ行ケバ、法人ハ資本ニ依ッテ多少ノ加減ハ付ケテアルケレドモ、個人ニハ少シモ付ケテナイ、隨テ昭和五六年ニハ五千圓ノ利益ガアッタ、昭和十年ニハ一萬圓ノ利益ガアッタ、サウスルト其差五千圓ノ中カラ二千圓ヲ控除シタ三千圓ノ一割ヲ課税シテ行クコトニナル、併ナガラ昭和五六年ノ設備ヨリハ倍ノ設備ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ時ニハ、決シテ臨時利得税デハアリマセヌ、是ハ平常ノ利得ヨリモ減ッテ居ルカモ知レナイ、デアリマスカラ、サウ云フヤウナ

今ノ政府ノ御話ハ、軍需關係ノ工業會社ト貿易關係業ニ限ッテ、何カ課税シヨウトスル御考ガアルノデアリマスカ

○石渡政府委員 只今ノ森田サンノ御質問ニ對シテ御答致シマス、軍需工業、輸出工業ト居フヤウナ、或ル一定ノ營業ノ種目ヲ

規定致シマシテ課税スルコトモ、相應デアラウカト思ヒマス、是ハ一應考ヘタノデアリマスカ、如何ナル物品ガ軍需品デアルカ、又輸出品デアアルカト云フヤウナコトノ限界ハ、判定致シマスノニ極メテ困難デアリマス、隨ヒマシテ是等ノ限界ヲ致シマセズ、營業一般ニ課税致スコトニ致シマシタ次第

デゴザイマス、ソレカラ今御尋ニゴザイマシタ、昭和五年、六年當時ヨリ資本ガ増シテ居ルモノニ付テハ、不公平デハアルマイカト云フ御尋デゴザイマスルガ、是ハ如何ニモ御説ノ通り、法人デゴザイマスレバ、當時ノ利益ノ少イモノハ、只今ノ資本金額ノ七分ニ相當スルモノヲ當時ノ利益ト致シマスガ、個人ノ營業ニ付キマシテハ資本金ノ計算ヲ致シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ資本金ヲ基ニ致シマシテ、其増額ヲ致シタ分ニ付テ多少見テ行クト云フコトハ、實行不可能デゴザイマスノデ、所得ノ大小ニ依ッテ、之ヲ見テ行クトヨリ外ニ仕方ガアルマイト思フノデゴザイマス、隨ヒマシテ個人ニ付キマシテハ、昭和五年、六年當時ノ所得ノ少イモノニ付キマシテハ、少クトモ之ヲ三千圓ニ見テ行クト云フ、一ツノ標準ヲ取リマシテ、其當時ノ所得ノ少イモノハ、三千圓ヲ其當時ノ所得ト致シマシテ行キタイ

ト、斯ウ存ジテ居リマス、左様御承知願ヒマス

○森田委員 石渡サンノ御答辯モ結構デアリマスカ、私ハ大臣ガズット御出マシニナルコトガ困難ト思ヒマスカラ、アナタノ出ニナル時ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今陸軍大臣ガオ出マシニナッテ居リマスカラ、分科會モ始リマシテ忙シイコトデアラウト思ヒマスカラ、此機會ニ一ツ大藏大臣ト御一緒ニ御尋ヲ申上ゲテ御答辯ガ願ヒタイト思ヒマスカ、先日本會議デモチョット申上ゲタノニ對シテ、大藏大臣ノ御答辯ハアッタノデアリマスガ、所謂砂糖會社ナリ銀行ナリノ配當ニ制限ヲ加ヘル點ノ問題デアリマス、而シテ又先般豫算總會ノ席上デ陸軍大臣カラモ、軍需工業ナドニ關スル會社ニ對シテハ、配當ノ制限ヲシヨウト言ハレタノカ、關係スルヤウニ言ハレタノカ、何カ新聞紙ナリ其方面ニサウ云フ風ニ傳テ、相當ソレガ影響ヲ及シテ居ル筈デアリマス、私ハ此點ニ付テ現在ノ、此國家ノ財政狀態ヲ見テ行キマスルト云フト、本當ニ財源ニ困ッテ居ル時代ハナイカ、即チ増税ヲシヨウト云フコトモ、高橋大藏大臣ガ先

ウデナクテモ赤字公債ヲ多額ニ發行シテ居ルノデアリマスカラ、現在ノ財政狀態ガ困難デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ砂糖會社、銀行ニ配當ノ制限ヲ加ヘタル爲ニ、政府ガ相當收入ニナルベキモノガ、收入ニナラズニ居ルモノガ多額ニア

ル、又軍需工業會社ナドニ、サウ云フ風ナ制限ヲ加ヘヨウト云フコトニナッテ行クト、是亦政府ノ稅收入ニ大變ナ影響ヲ及シテ來ルノデハナイカ、國ニハ財源ガ要ルノト唱ヘテ居リナガラ、一面ニハ其財源トナルベキ、收入トナルベキモノヲ少クシテ行カウト云フヤウナ御考ハ、ドウ云フ點カラサウ云フ御考ガ出テ來ルノデアアルカ、大藏大臣ノ御話ニ依ルト、銀行ト云フモノハ預金者ニ迷惑ヲ掛ケチャイカヌカラ、内容ヲ良クシテ置カナケレバナラヌ、隨テ配當ニ制限ヲ加ヘテ、内容ヲ良クスルノデアアル、砂糖ハ砂糖會社ノ内容ヲ良クシテ、旨イモノト云フコトハ決ッテ居ルカモ知ラヌガ、良イモノヲ國民ニ供給サセヨウト云フヤウナ意味デアリマシタカ、兎モ角モサウ云フヤウナ意味デアアル、軍需工業ニ對シテ、サウ云フコトヲドウスルカト云フコトハ、是カラ陸軍大臣ノ具體的ノ御答ヲ俟ッテ分ルノデアリマスガ、私ハ何レモ銀行ノ如キハ、殆

ド大銀行ニ小サナ銀行ハ買収サレタリ、併吞サレタリシテ、大銀行ニナツデシマツタ、地方ニ在ルト中央ニ在ルトヲ問ハズ、大キナ銀行ハ何レモ基礎ハ確實デアリマス、殆ド是等ノ銀行ハドウスウト云フ心配モナシ、ノミナラズ今回ノスウ云フモノハ、一ツモ關係シテ來ナイと思フゾデアリマスカ、軍需「インフレ」ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、此方面ニ於キマシテ證券ガ莫大ナル値上リヲシ、公債ノ如キモ、何レモ八十圓程度デ計算シテ居タモノガ、百圓以上ニナツテ居ルト云フヤウナコトカラ考ヘテ見テモ、銀行ナドノ利益ハ非常ニ増シテ居ル、隨テ或ル程度ノ配當ヲシタカラト云ウテ、ソレガ爲ニ銀行ガ預金者ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナ今日デヤナイ、隨テ相當ノ配當ヲサシテ行ケバ、アノ點ガ、大藏大臣ガ一人監督ヲシテ居ラレノニ、銀行局ト主税局トノ間デハ非常ニ開キガアルト私ハ思フ、税務當局ノ方デハ、尙ホ是モ生キタ財源ト見テ宜イ、是モ取立テ、アレモ取立テト云フノデ、利益ヲ大キク見ヨウトセラレシ、銀行局ノ方デハ、是ハ一ツ切捨テ、モ宜カラウ、アレモ資産ト見ヌデモ宜カラウト言ハレルシニ重人格ヲ御使ヒニナツテ居ルト吾

アノ監督ノ方針ヲ一定ニセラルベキデハナイカ、大藏大臣トシテ一定ノ方針ノ下ニ、其何レニ據ルカ、サウシテ行フト云フト、今日銀行ノ如キモノガ預金ヲ中央ニ集中シテ、公債バカリ有タセルヤウナコトヲスルヨリモ、地方ニアノ預金ヲ還元サセテ、産業資金ニ投資シテ行ケバ、政府ノ收入モ色色ナ税金デ増シテ行キハシナイカ、併ナガラソレガ直グ不可能トシタナラバ、配當金トシテ相當配當サセテ、株主ニ消費ヲサセテ、サウシテ産業ヲ興サスヤウナ方法ヲ採ル、又砂糖會社ハドウシテモ配當ノ制限ヲセラル、ト云フナラバ、關稅ノ方面ニ於テ引下ゲテ——特別關稅ヲ掛ケテ保護シテアルノデアリマスガ、アノ關稅ヲ相當ニ引下ゲテ、國民ノ消費者ニソレヲ相當ニ安イモノヲ喰ベサセテヤル、サウデナイナラバ配當ヲサセテ、配當金ヲ政府ノ第一種所得カ、第三種所得トシテ、稅收入ノ増額ヲ圖リ、一面ニハ株主ニ配當シタモノガ消費方面ニ振向ケラレラカラ、産業界方面ガ盛ニナツテ行クノデアルカラ、其何レカラヤツテ貰ヒタイ、砂糖會社ノ配當制限ヲ止メルカ、サウデナイナラバ砂糖ノ特別關稅ヲ引下ゲテ、國民ノ消費者ニ持ッテ行ッテ便益ヲ與ヘラレルカ、其何レカノ中ノ一途ニ出ヅルベ

キデアルト云フコトヲ屢、申上ゲテ居ル、軍需工業ニ付テモ、若シ陸軍大臣ガ左様ナ御考ガアツタスルナラバ、斯ウ云フ方面ノ事業ハ勿論又萎縮シテ行クデアリマセウ、隨テ資本關係ハ、産業資本家ト云フモノハ、金融資本家カラ一定ノ利子ヲ拂ッデ金ヲ借りテ、事業ヲヤツテ行ッテ居ルノデアリマスカ、其間ニ何程カノ經營利得ガナケレバ經營出來ルモノデハナイ、隨テ其配當ヲ若シ制限シテ行カウトスルナラバ、此方面カラ入ッテ來ル稅收入、即チ第一種所得及第三種所得ニ相當又減額ヲ來スノデハナイカ、寧ロ儲ケサセタモノヲ配當ヲサセテ、ソレニ依ッテ第三種ノ所得ナリ、第一種ノ法人所得ナリヲ十分取ルヤウニシタ方ガ、國家ノ今日ノ財政ニ適應スル適當ナル手段デハナイカ、政府當局ハ一面ニ於テ財源ガナクテ困ッテ居ルト言ヒナガラ、一面ニハ世ノ中ノ景氣ヲ惡クスルヤウナ、政府ノ歳入ヲ減スヤウナコトヲ考ヘテ行クノハ、一體其何レヲ信ジテ宜イノカ、公債ハ漸減シタイ、出ル方ハ中々國防費ナドハ減スコトハ出來ヌ、然ルニ稅收入トシテ入ルモノハ入ラナイヤウニ抑ヘテ行カウ、其間ニ同ジ政府デヤルノニ矛盾ガアリハシマセヌカ、此點ヲハッキリト兩大臣ニ御説明ガ願ヒタイノデ

アリマス
○高橋國務大臣 森田君ノ只今ノ御説ハ、一方ニ於テハ一般財政ノ整理ノ必要上カラ、又稅制ノ整理改正ト云フヤウナコトニ關係ヲ有ッテ居リマスガ、ソレハ豫テ申ス通り、一般ノ稅制整理若クハ増稅ト云フヤウナコトハ、今日尙ホ其時機デナイト云フコトヲ申シテ居ル、ソレニハ觸レタクナイ、唯茲ニアナタノ誤解ガアリハシナイカと思フノハ、如何ニモ大藏省ニ於テ銀行ノ配當ヲ制限シテ居ルヤウニ言ハレタガ、サウ云フコトハナイ、唯銀行業者ニ對シテハ、度度ニマデ銀行ノ基礎ノ十分ニ固ク出來テ居ラナイ爲ニ預金者ニ迷惑ヲ掛ケル、隨テ財界ニ色々ナ動搖ヲ起シテ困ルカラ、サウ云フコトノナイヤウニ、景氣ノ好イ時ニ確ッカリト自分ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトニ力ヲ用ヒテ貰ヒタイト云フ注意ハスルノデス、ケレドモ制限ナドハシテ居リマセヌ、唯特殊銀行ニ於テ、未ダ其整理スベキモノガアル所ニ向ッテハ、今期ニ利益ガアツタカラト云ッテ、配當ヲ殖スナド、云フ考ヲ有ツコトハイカヌ、何處マデモ整理ヲ第一ニシナケレバナラスト云フヤウナ方針ハ執ッテ居リマス、又特殊銀行デアレバ、必ズ決算ノ時ニ是ダケノ配當ヲシタイトカ、斯ウ云フヤ

ウニシタイト云フヤウナコトハ、是ハ大藏大臣ノ承認ヲ求メテ來ル、是ハ別段ノ話デアル、併シ普通ノ一般銀行ニ對シテハ、決シテ配當ノ制限ヲ大藏大臣ガスル權能モナイト私ハ思ヘデ居リマス、又私ハサウ云フコトヲスル考ハナイ、唯注意ハ與ヘナケレバナラス

○林國務大臣 陸軍ノ軍需品ノ會社ニ對シマスル態度モ、大體今大藏大臣ノ言ハレテ御趣旨ト同様デアッテ、敢テ其配當ヲ制限スルト云フ意味ハアリマセヌ、併シ其大ナル利益金ヲ處分スル上ニ付テ、此會社ガ國防ノ必要上益、其設備ナリ、或ハ生産ナリヲ増大スル必要ガアルト思ヒマスノデ、サウ云フ方面ニ此利益ノ一部ヲ、所謂研究設備トカ、或ハ生産設備トカ云フ方面ニ投ジテ、サウシテ所謂軍需會社タル特質ニ應ズルヤウニ、其會社ノ設備ト云ヒマスカ、其會社ヲ十分ナ形態ヲ備ヘシムルト云フコトニ、餘程力ヲ盡サシメナケレバナラヌゾト云フ意味デ、監督ナリ、注意ナリヲ致シテ居ルニ過ギナイノデアリマス

○森田委員 大藏大臣ノ御答ノ中ニ、制限ハシテ居ラス、注意ヲシテ居ルト云フコトデスガ、結果ハ同ジ事デアリマス、其點ハ吾々民間ノ者カラ見マスルト、ヤハリ大藏

省ノ銀行局ト云フモノヲ銀行ハ恐レテ居ルカラ、注意ガ即チ制限ニナルノデス、餘計シテハイカスト言ヘバ、ソレハ注意デセウ、勿論法律上ノ權能ノ無イコトハ能ク承知シテ居リマス、ケレドモサウ云フヤウナコトヲ注意サレルカラ、シタイモノガ出來ヌヤウニナル、シタイモノガ出來ヌヤウニナル結果ハ、政府ノ財源ニ關係シテ來ル、斯ウ云フコトヲ私ハ中上ゲテ居ルノデアリマス、砂糖會社ノコトニ付テハ御答ガナカタノデアリマスガ、同様デアリマス、又今陸軍大臣ノ御話ニ、軍需工業會社ノ軍需工業ニ依ッテ利得ヲ生ズルモノニ對シテハ、其利益金額ヲ研究方面ナリ、其他ノ設備ニ振向ケサスノデアッテ、サウ云フ意味デ云々ト仰シヤッタノデアリマスガ、サウスルト今度軍需工業ノ會社ハ、陸軍ナリ海軍ナリ――軍部ノ方デ、今ノ所デハ配當ヲドウセイスウセイト命令ハ下ラヌダラウト思フノデスガ、何カサウ云フ方面ニ向ッテ、サウ云フヤウナコトガ行ハレルヤウナ手段、方法ヲ講ゼラル、御考ナドモアルノデアリマスカ、サウ云フコトハ、イマ一ツハ、軍部ノ方面ノ此赤字公債ノ發行ノ大部分ハ、御承知ノ通り國防費ニナッテ居ルノデアリマス、サウスルト此國防費ニ依ッテ軍需工業會社

ガ景氣好ク儲ケテ居ルト云フコトニ對シテハ、每議會ニ政府カラモ御話モアルヤウニ、單價ヲ相當ノ所ニ値切ラウト云フコトニナッデモ、ソレデモ相當利益ヲ得テ居ルト云フコトニナルナラバ、即チ此處デ利得稅ヲ課ケタリ、配當ヲサセテ、配當所得ヲ課ケタリシテ行クコトニ依ッテ、公平ニナル理窟デハアリマスマイカ、今アナタノ御話ノヤウニシテ行クト、配當ノ制限ヲ加ヘルト、第三種ノ配當所得ト云フモノガ、政府ニ入ッテ來ルモノハ相當減額シテ來ルノデアリマス、サウスルトソレダケハ公債ヲ増スナリ、ソレダケノ使途ヲ減ズルナリシテ行カナケレバナラヌコトニナッテ行クト思フノデアリマスガ、財源關係トサウ云フ方面トノ兩立ハ致シ兼ネルノデアリマス、財源ガナクテ困ッテ居ルカラ、斯ウ云フ僅ナ三千萬ヤ、四千萬ノ新稅デモ起シテ國民ニ負擔サセヨウ、此稅ノコトニ付テ、此利得稅デモ私ハ政府ニ御考違ヒガアルマイカト思フノハ、是ダケノ新稅ヲ起シテ行ッテ、貿易ナリ、軍需工業ナリデ儲ケタ所ノ利得ニ對シテ、其課稅ヲシテ行クト云フ御方針デアアルコトハ、諒承致シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ軍需工業會社ナリ貿易業者ハ、必ズ此稅ハ轉嫁稅ニナル、詰リ軍需工業會社ガ今

マデ鐵ノ工業品デ一貫目當リ、或ハ百貫目當リ稅金ヲ何程ト見込シテ入札シテ居ルノデアリマスガ、此利得稅ヲ課ケルコトニナレバ、ソレダケ單價ヲ上ゲテ來ルコトハ當然デアリマス、商人ハ誰デモサウデアリマス、サウスルト轉嫁稅デアアルカラ、是ハ必シモ納メル者ガ義務トシテ出スノデハナイ、今私ガ言フヤウニ、個人ノ金融資本家方面ニ課ケル稅ナラバ、其納メル人ガ負擔スルコトニナルノデス、賞與ヲ貰フ、斯ウ云フ臨時所得ニ對シテハ、我國ノ所得稅法ニ依ルト、臨時所得ニハ稅ヲ課ケナイヤウニナッテ居ル、或ハ一時所得モ、退職手當トカ何トカ云フモノハ、相當大キナモノデアルガ、サウ云フ方面ニハ課ケナイ、或ハ公債ノ利子ノ所得ナリ、預金ノ所得ナリト云フモノニ課稅スルノハ、是ハ轉嫁稅ニナリマセヌ、隨テ金融資本家自ラソレハ負擔シテ行クベキ性質ノモノデアアル、營業方面ニ課ケテ行ク稅金ハ總テ轉嫁稅トナル、サウスルト其稅金ノ如キモノヲ、今陸軍大臣ノ言ハレルヤウナ事ヲヤレバ、サウ云フ方面ノ產業ガ盛ニナラス、利廻ニナラヌカラ產業ヲ起シマセヌカラシテ、サウ云フ風ニナル、ノミナラズ隨テ國家ノ財源ヲ成シテ居ル第一種、第三種ノ所得稅ガ減ッテ來テ、結

局一層財源ニ困ルヤウニナリハセヌカ、斯

考ベマス

ウ云フ事ヲ質問シタノデアリマス、研究

○森田委員 最初ノ質問ノ監督云々ト云フ

方面ハ、サウ云フ研究ハ、ソレハ資本ヲ増

點ハ、私ノ間ウタノハ、軍需工業會社ニ配

加シテ研究スレバ宜イ、一方ノ利益ヲ留保

當ヲサセヌトカ、サスト云フコトヲ軍部一

シテ、サウ云フ方面ニ向ケテ行クコトハ、

陸海軍省ガヤルト云フコトハ、今ノ法律

國家ノ財源ヲ益、少クスル所以デハナイカ、

ノ何レニ據ルデモ無イノデアアルカラ、私ハ

斯ウ云フ質問ヲ私ハシタノデアリマスカ

出來ヌト思フガト云フ質問ヲシタノデアリ

ラ、其御積リデ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

マス、ソレカラ後ノ分ノ問題ハ、其通り監

○林國務大臣 只今ノ御尋ハ、新稅ヲ行フ

督官ヲ置イテ、研究ヲサス設備ナリ色々ノ

ニ付テ、ドウ云フ手段方法ヲ講ズルノカト

方面ニ金ヲ使ハセタイト云フノハ、現在デ

云フノガ第一ノ御質問ノヤウデアリマス

モ相當ヤッテ居ルト思ヒマスガ、其程度ノ點

ガ、此技術ナリ會計ノ點ニ付キマシテハ、

ナラバ、私ハ現在ノヤウニ軍需工業方面ニ

ソレノ監督ノ制度ガアッデ、其監督ノ制度

「シヨック」ヲ與ヘテ居ルヤウナコトニハナ

ヲ、今ノ監督官ト云フモノヲ設ケタリ何カ

ラスダラウト思ヒマス、現在デモヤッテ居

シマシテ指導シテ居リマス、ソレカラ此利

ルノデアリマスカラ「シヨック」ヲ與ヘル譯

益ハ、全部サウ云フ方面ニ向ケルト云フ意

ハナイト思フ、ダカラ私ハ其點ハ、現在非常

味デハ無論ナイノデアリマシテ、他ノ一般

ニ神經過敏ニナッテ居ルノデアアルカラ、能ク

ノ方面ニモ無論分配ヲスル、併シ其比較的

分ルヤウニシナケレバナラス、今ノ程度ノ

ニ云ヒマス、國防上ノ必要カラ、サウ云

コトナラバ私ハ一向差支ナイト思フ、ケレ

フ設備ノ増大ト云フヤウナコトモ相當ニ必

ドモ實際ハサウナッテ居ナイ、ダカラ能ク御

要デアル、又研究ト云フコトモ絶エズヤッ

注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ財源

テ居ラナケレバナラスト云フ關係上、サウ

ノ方ニ付テ本會議デ御答ガナカッタノデア

云フ所ニ相當金ヲ使ハス、デアリマスカラ

リマスガ、今ノ軍需工業ナリ、貿易業ニ依ッ

御心配ノヤウニ配當ヲウント切詰メテ、其

テ相當利得ヲ得テ居ル人々ニ課稅ヲシタイ

ト云フノト同ジヤウニ、アノ露西亞ノ政變

ガアッタ時——帝制時代カラ共產主義時代

ニ移ル時、我國ノ貿易業者ニ約二億圓バカ

マセウカ、御尋申上ゲマス

リノ貸金ヲシテ居ル、アノ貸シテ居ル人々

○高橋國務大臣 是非歳入ヲ是ダケ増サネ

ノ方面ガ今度ハ非常ニ儲ケテ居ル方面ノ人

バナラスト云フ、其一點張デ行キマシタ

人ノヤウニ私ニハ思ハレルノデアリマス

ラ、マダ幾ラモ方法ハアリマセウ、必ズ歳

ガ、ソレニ付テソレヲ年賦デ取立テタ所デ

入ヲ増スコトガ必要ナリト云フ見地カラ

——一番好イ機會デモアルシ、又ソレニ

起ッタ問題デハナイノデス、先刻カラ申ス

依ッテ財源ヲ得ルナラバ、サウ云フ第一線

通り新稅法ハ——今御話ノ露西亞時代ニド

ニ立ッテ居ル産業資本家ヲ害メズニ、財源

ウトカ斯ウトカ云フコトハ、私ハ能クハッ

ヲ得ル途ガアルノデハナイカト云フコトニ

キリ分ラス、其時分ニナンデスカ、政府カ

對シテハ、總理大臣ハ、唯單ニ外國ニ貸シ

ラシテ損ヲシタノヲ償ッテヤッタ、其人達ハ

タヤウナ金ヲ取ルト云フ考ヲ持ッテ居リマ

今日儲ケテ居ルカラ、政府ノ償ッテヤッタモ

セヌ、斯ウ云フ返事デアアルガ、私ハ總理大

臣ニハサウ云フコトハ頭ニ入ラスモノダラ

ウト思フノデアリマス、私ハサウ云フ質問

ハ能ク事實ハ分リマセヌ、或ハ事務ノ者ハ

ヲシテ居ラスコトハ、速記録ヲ御覽下スッデ

分ッテ居ルカモ知レヌカラ、事務ノ方カラ

モ明ナ通り——ダカラシテ斯ウ云フ新稅ヲ

御答致シマス

設ケテ、一般ノ國民ニ不公平ナル負擔ヲサ

○青木政府委員 最後ノ點ニ付テ御答致シ

スヤウナコトヲ考ヘルヨリモ、今軍需工業

マス、當時我國ノ對露輸出業者ガ、露西亞

ニ依ッテ儲ケテ居ル人々、貿易事業ニ依ッテ

ニ對シテ軍需品其他ノ商品ヲ賣リマシタ場

儲ケテ居ル人々ガ、アノ時ノ人々ニ相當居

合ニ、債權ヲ取得シタノデアリマス、御尋

ルノデアリマス、サウスルトサウ云フ方面

ハ其事ダト思ヒマスガ、此債權ハ當時合法

ノ金ヲ年賦ナリ何ナリデ取立テルコトニ

依ッテ、此財源ノ補充ハ十分出來ルデア

リマセヌカ、斯ウ御尋シタノデアリマス

ガ、ソレニ對シテ一向今マデ答辯ガナイノ

デアリマスガ、大藏大臣ハドウ御考ニナリ

マシテ、此債權ヲ買上ゲタノデアリマスカ

ラ、其取引ハ濟シテ居ルノデアリマス、其債權ヲ買上ゲテ、其結果政府ガ損ヲシタト致シマシテモ、ソレハ一種ノ取引上ノ結果デゴザイマシテ、今日ニナツテ改メテ問題ニスルノハ如何カト思ヒマス

○森田委員 サウスルト其買上ゲタ債權ハ今ドウナツテ居リマスカ

○青木政府委員 是ハ債權トシテ持ッテ居リマス

○森田委員 其債權トシテ持ッテ居ルモノガ、效力ヲ發生スルヤウニシタラドウカト云フコトニナル、債權トシテ持ッテ居ルモノハ、ズット其儘ニシテ置イタノデハ、何時マデ經ッテモ結局國庫ノ損失ニナツデシマヒハシマセスカ、ソレヲ御尋シマス

○青木政府委員 ソレハ主トシテ外交上ノ關係デゴザイマスカラ、外交當局ニ御尋ラ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 外交上ノ問題ト云フト、露西亞カラ取立テルヤウナ風ノ意味ニ於ケル御答ダト思ヒマスガ、私ノ質問ノ趣旨ハサウデハアリマセヌ、成程政府ハ一時肩替リヲシテ居ルノデアリマセウ、貿易ノ決濟尻ハ露西亞ニ對シテ貸勘定ニナツタ——貿易業者ガ有シテ居ッタ債權ヲ政府ガ一時肩替リヲシテ居ル、肩替リヲスル時ニハ、窮狀ヲ

懸ヘテ肩替リヲシテ貰ッタンダラウガ、今日ハ其人達ハ儲ケテ居ルカラ、其人々カラ取戻セバ宜イ、サウ云フ意味ノ質問デス

○青木政府委員 若シアノ當時對露債權ノ讓渡契約ノ中ニ、將來其債權ガ政府トシテ露西亞カラ取レナクナツタヤウナ場合、或ハ當業者ガ非常ニ將來儲カッタ場合ニハ、直接輸出業者等カラ政府ニ何ガシノ報償ヲ拂フト云フヤウナ特約デモアリマスレバ、ソレハ御説ノヤウナ問題モ起リマスガ、當時ハ無條件讓渡デアリマスカラ、サウ云フ問題ハ起ラナイト思ヒマス

○森田委員 ソレカラ今一點、是ハ主税局長サンカラノ御答デ宜シイト思ヒマスガ、二ツノ點ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、此税法ガ法人ノ方ト個人ノ方ト税率ヲ一律對等ニシテ居ラレル——同率ニシテ居ラレル、同率ニナツテ居ル點ガ、先程私ガ申上ゲタヤウナ場合ノ時ニハ、ドウ云フ風ナ——勅令要領ナドニハ一寸モ見當リマセヌガ——個人ガ事業ヲ擴張シタガ爲ニ儲ケテ居ル、即チ昭和五六年ノ平均ガ五千圓デアツタモノガ、昭和十年ニハ一萬圓儲ケテ、其爲ニ當然昭和五、六年ノ平均ノ設備ニ較ベレバ、倍額ノ設備ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、臨時利得デアリマセヌ、普

通ノ事業擴張ニ依ル利得デアリマス、サウ云フ場合ニハドウ云フ風ノ課税技術ヲ以テ公平ヲ期セラレル積リデアルカ、ソレカラ昭和五六年ノ平均利得ニ據ッテ居ラレルノデアリマスガ、昭和五六年、五年、六年ト云フ短イ期間ヲ平均利得ニシヨウトシタ場合、兩事業年度ノ間ニ於テ、法人デモ、個人デモ特別ナ關係ガアル、即チ同盟罷工ヲヤルトカ色々ナ事情デ、事業ヲ中止シテ居ッタ爲ニ儲カラナクッタ、或ハ非常ニ儲ケガ薄カッタト云フ場合ニハ、矢張税ノ年七分ト云フモノヲ以テ抑ヘテ行カウト云フノデアリマスカラ、此點ヲ承リタイ

○石渡政府委員 最初ノ御尋ハ法人、個人共同率デアルノハ如何ナ譯デアルカ、斯ウ云フ御尋ダト思フノデゴザイマスガ、如何ニモ此前ノ戰時利得税法ノ時ニ於キマシテハ、法人ト個人ト税率ヲ區別致シマシタガ、今回ハ之ヲ同率ニ致シマシタ、同率ニ致シマシタ理由ハ、其當時ト今日トニ於キマシテハ、所得税法ノ仕組モ大分異ッテ居リマスシ、一定ノ利得金額ト云フモノガ現ハレマシタ場合ニ、法人ト個人ト其税率ヲ區分スルノ理由ト云フモノハ乏シイヤウニ思ヒマシタノデ、之ヲ同率ニ致シマシタ次第デゴザイマス、今御尋ノ——ソレデ

ハ個人ノ利得ヲ算出シテ、ソレニ依ッテ課税スル場合ニ、個人ノ資本金ノ大キクナツテ居ル部分ニ不公平ガアルマイカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスルガ、如何ニモ法人ト個人ト相對立致シマス、其間ニ差別ガゴザイマス、隨ヒマシテ法人ノ計算ト個人ノ計算トハ、同率ニハ行カナイノデアリマス、個人ノ資本金計算ト云フモノヲ致シマスコトハ、實際ニ於テ非常ニ難カシイ問題デアリマスノデ、隨ヒマシテ今日營業收益税ノ課税標準ニ於キマシテモ、所謂資本金額ト云フモノヲ用キテ居リマセヌ、隨テ昭和五年六年當時ノ資本金額ヲ、今日カラ算出致スコトモ不可能デゴザイマスノデ、是ハ戰時利得税法當時ト同ジヤウナ考ヲ以チマシテ、戰時利得税法ノ當時ニ行ヒマシタト同様、個人ノ利益金額ト云フモノヲ基準ニ致シマシテ、其間ノ比較ヲシテ行ッテ居ル次第デアリマス、ソレデ個人ノ所得ガ餘リニ少イト云フモノニ、之ヲ基ニシテ計算致シマスコトハ氣ノ毒ナ場合ガゴザイマスノデ、昭和五年、六年當時ノ平均ノ金額ヲ三千圓ト見テ行カウ、斯ウ思ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ昭和五年、六年當時ノ事業年度ニ於キマシテ、利益ガ非常ニ少カッタ、例ヘバ同盟罷工等ニ付テ利益ガ非常

ニ少ナカッタト云フ場合ニ於キマシテハ、ソレガ資本金額ノ七分以下ノ利益デアッタ場合ニ於キマシテハ、七分ニ引下ゲテ行ク、七分以上デアリマシタラ勿論其額デ行ク、斯ウ云フ譯デゴザイマス

○森田委員 陸軍大臣ガ若シ御歸リニナラレマスヤウナラ、今序ニ質問ラシテ置キタイト思ヒマス、先程私ガ御質問申上ゲタガ、御答ガナイカラ催促スルヤウナコトニナリマスガ、今ノ軍需工業會社ヲ、何モ法律ヲ設ケテ配當ノ制限ラシヨウト云フヤウナ御考ハナイモノト見テ宜シイノデアリマスカ

○林國務大臣 サウ云フ考ハアリマセヌ

○森田委員 今ノ石渡サンノ答辯ハ、一向私ノ御尋申上ゲル點ニハ關係ガナイヤウニ思フ、私ノ申上ゲタノハ、法人ハ資本ヲ基準トシテ此課稅ヲスル、個人デハ課稅ノ標準ガナイ、其結果昭和五六年ノ平均所得ト、昭和十年ノ所得ト云フモノニ對シテ課稅スルノデアアルガ、設備ガ倍ニナツテ居テ、利益ガ昭和五年ノ倍ニナツテ居レバ同ジコトデハナイカ、サウ云フモノニ持ッテ行ッテ課稅ヲスルト云フノデハ、臨時利得デハナイデハナイカ、今政府デハ言ハレルヤウニ、軍需工業ヤ貿易事業ニ依ッテ臨時ノ、世間ノ人ガ羨ンデ居ルヤウナ餘分ナ儲ヲセヌ他ノ事

業ノ方面デモ、此法律ハ適用ニナツテ居ル、而モ個人ガ設備ヲ倍ニシ、三倍ニシ、五倍ニシテ居ルモノデモ、矢張其割合ニ非常ナ増稅ヲ課スルコトニナルノデアアルガ、戰時利得稅ハ稅率ヲ變ヘタリ、或ハ二割ト云フヤウナ其間ニ裕リヲ見テアルカラ、是ヨリハ公平ナモノデアッタラウト思ヒマスガ、此點ガ私ハドウシテモ個人ト法人ト一律ニシテハイカヌ、若シ一律ニスルナラバ、同ジヤウニ資本ノ基準ヲ以テヤッテ行カケレバナラス、斯ウ云フモノニ對シテ、今アナタノ仰シヤッタ儲ノナイ個人ニ、三千圓ヲ最低トシテ抑ヘルト云フヤウナコトデハ要領ヲ得マセヌ、設備ヲ倍額、三倍、四倍ニシテ居ッテ、ソレガ爲ニ三倍、四倍ノ利益ガアル者ニ對シテ課稅スルコトハ不公平デアアル、臨時利得デハナイデハナイカ、斯ウ云フ質問ヲシタノデアリマス

○石渡政府委員 法人ハ是モ原則カラ致シマスレバ、絕對額デ比較シテ行ク譯デアリマス、併ナガラ其資本金額ニ移動ノアッタ場合ニ於キマシテハ、其移動ノアッタ資本金額デ行ク、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ此個人ノ方ハ、御承知ノ通り資本金額ヲ見ルト云フコトハ、稅務ノ實際上不可能デアルト思フノデアリマス、

隨ヒマシテ此個人ノ方ハ、所得ノ絕對額デ見テ行クヨリ外ニ仕方ガナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、隨ヒマシテ資本金ノ増減ヲ見マセヌカラ、資本金ガ餘計アリマシテモ、或ハ此稅金ヲ負擔スルコトガアルト思ヒマス、是ハ今日ノ稅法上已ムヲ得ナイコトダト思ヒマス

○岡田委員長 森田君、アナタノ質問ハマダ長イノデスカ

○森田委員 サウデス

○岡田委員長 大臣ニ對スル御質問ハマダアリマスカ——アルナラバ時間ガ最早正午ニナリマシタカラ、午後ニシヨウト思ヒマスガ……

○森田委員 結構デス

○岡田委員長 サウスルト午後ハアナタハ大臣ハ誰ヲ要求サレマスカ

○森田委員 矢張大藏大臣ニ御出デヲ願ヒタイ

○岡田委員長 ソレカラ其次ハ前田君ニナツテ居リマシテ、是ハ陸軍大臣ト大藏大臣ヲ要求シテ居リマスカラ、午後ハ兩大臣共御出席ヲ願ッテ置キタイト存ジマス、ソレデハ午前ハ是デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ再開致シマス

正午休憩

午後一時四十分開議

○岡田委員長 ソレデハ午前中ニ引續キ會議ヲ開キマス——昨日大口君ガ留保サレタ御質問ニ對シテ政府ノ御答辯ヲ願ヒマス

○岡田國務大臣 大口君ニ御答シマス、大口君ノ御尋ハ國防費分擔金受入ノ基礎ハ何デアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、國防費分擔金ハ日滿議定書ノ第二項ニ「兩國共同シテ國家ノ防衛ニ當ルヘキコトヲ約ス」ト規定シテアリマス、之ニ基イテ受入レタノデアリマス

○大口委員 實ハ此問題ハ國交上極メテ重大ナ問題ト存ジマスシ、又我國ノ大義明分ノ上ニ於テモ極メテ重大ナコト、考ヘマスカラ、私モ實ハ慎重ナ態度ヲ以テ此問題ニハ向ッテ居リマス、併ナガラ此豫算ヲ議スルニ當リマシテ、此問題ヲ明ニセズニ進メルコトハ如何デアラウカト考ヘテ居リマスル折柄、滿洲事件費公債發行高ニ關シマシテ、偶、茲ニ突當ッテ參リマシタ、ソコデドウ云フ根據ニ依ッテ滿洲國國防費ノ分擔金ヲ我が日本ガ取ルカ、受入レルカ、是ハ何カ據ル所ガナクチャナラヌト考ヘテ承ッタ所ガ、政府委員ヨリ總理大臣カラ御答ニナルヤウニシマスカラト云フコトデアッタ、私ハ總理大

臣ヲ名指シテ御尋シタ譯デハナイノデアリマス、政府委員ガ重大ナコトデアルカラ總理大臣カラ答ヘテ貰フコトニスルカラト云フ御話デアリマシタノデ、御尤モデアアルカラサウ願ヒタイト私ガ申シタノデアリマス、所ガ只今總理大臣ノ御答辯ニ依リマス、日滿議定書ノ第二項ニ於テ兩國ガ共同シテ國家ノ防衛ニ當ルコトニナッテ居ルカラ分擔金ヲ受入レルコトハ差支ガナイ、斯ウ云フ御解釋ノヤウデアリマス、サウスルト私ハ其處ニ一ツノ疑問ガ起ルノデアリマス、成程國家ノ防衛ニ當リマスニ付キマシテ、日滿兩國ガ共同シテヤリマスコトハ、是ハモウ異議ヲ挿ム餘地ハアリマセヌ、日滿議定書ニ明瞭デアリマス、所ガ其費用ヲドウスルカト云フ協定ハナイノデアリマス、費用ヲドウ分ケルカト云フコトハ、一言モ之ニ及ンデ居ナイノデアリマス、此費用ノ分擔方法ガ決ッテ居ルモノデアレバ、是亦異論ノナイ所デ、問題ニハナラヌノデアリマス、日滿議定書ニハ、費用ノコトハ一字一句モ書イテナイ、而シテ滿洲國ガ獨立ノ一國デアルコトハ申ス迄モアリマセヌ、日滿議定書ニ明瞭ニ書イテアリ、事實モ亦サウデアアル、日本帝國ガ獨立國デアルコト、是亦申ス迄モナイ、獨立國ト獨立國ト

ガ互ニ共同シテ國家ノ防衛ニ當ル、之ニ異論ハナイ、ケレドモガ我が日本帝國ガ國軍ヲ動ス場合ニ於キマシテハ、日本帝國自ラガ必要ト信ズル所ニ於テ滿洲國內ニ兵ヲ出シテ居ルノデアリマス、其點ハ我が日本帝國ハ飽ク迄獨立ノ見地ヲ以テ、日本帝國ガ必要ト認メル範圍ニ於テ、滿洲國ニ此議定書ニ依ッテ兵ヲ出シテ居ルモノデアルト思ヒマス、何等ノ條約ナクシテ、向フカラ呉レル所ノ分擔金ヲ受入レルコトガ出來得ルモノカ、如何デアアルカ、茲ニ非常ナ疑問ガアルノデアリマス、勿論滿洲國ガ我國ニ對シマシテ、此分擔金ヲ出シテ呉レウト申ス好意ニ對シマシテハ、私ハ洵ニ感謝スベキダト思ヒマス、滿洲國ノ意思ハ、洵ニ是ハ尊重スベキモノデアルト私ハ思ヒマス、併ナガラ如何ニ向フガ好意デアリマシテモ、我が日本帝國ハ飽ク迄名分ヲ重ンジナケレバナリマセヌ、大義名分ノ上カラ取り得ベカラザルモノデアレバ、是ハ取ルコトハ出來マセヌ、爰ガ大問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレダカラ私ハ日滿議定書以外ニ何カサウ云フ約束ガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、日滿議定書ダケヲ根據トシテ之ヲ受入レルト云フコトニナレバ、私ハ只今斷言ハ出來マセ

ヌ、中々是ハ考慮ヲ要スルコトデアリ、重大ナ問題デアリマスカラ、質問ノ場合ニ斷言ハ致シマセヌガ、私共ハ餘程研究ヲ要スベキモノデアルト思ヒマス、ソレ故ニ日滿議定書ノ此第二項ニ依ッテ、ソレヲ根據トシテ、分擔金ヲ受入レラレルト云フコトニナルト、一字一句モ分擔金ノ金ノコトハナイノデアアル、サウシテ我が日本國ガ日本國ノ信ズル所ニ依ッテ皇軍ヲ動かシテ居ルモノト思フノデス、シテ見ルト外國カラ其分擔金ヲ受ケルト云フコトハ、果シテ如何デアリマセウカ、條約ノ上カラドウ云フモノデアアルカ、國家ノ大義名分ノ上カラ如何ナモノデアアルカ、我國ハ日露戰爭ト云ヒ、日清戰爭ト云ヒ、決シテ他念ハ持ッテ居ラヌ、飽ク迄東洋ノ平和ヲ永遠ニ維持シ、世界ノ有ユル人類ヲ我國ハ救済致ス、此大精神カラ出デ、居ル、實ニ義勇ノ戰デアリマス、是ガ分擔金ヲ受入レルト云フコトニナルト、何カ特殊ノ條約ガナイト、大義名分ノ上ニ於テ惡影響ヲ及ボシハシナイカ、此處ヲ私ハ考ヘテ御質問申スノデアリマス、モウ一應私ガ諒解ガ行クヤウニ御説明ヲ請ヒマス

○岡田國務大臣 大日君ノ言ハレマス通り、是ハ重大ナ問題デアリマシテ、十分考慮シナケレバナラヌコト、思ヒマス、私ナド素人ノ簡單ナ考、サウ申シテハ一寸語弊ガアルカモ知レマセヌガ、日滿兩國ハ共同シテ防衛ニ當ルノデアリマス、ソレデ滿洲國トシテハ、自發的ニ或ハ兵隊ヲ共同防衛ニ參加セシメルコトモアリマセウ、又兵器ヲ提供スルコトモアリマセウ、金ヲ提供スルコトモアリマセウガ、私ハ差支ナイト考ヘテ居リマス

○大口委員 只今ノ日滿議定書ノ第二條ニ據ッテ、共同防衛デアアルカラ、滿洲國ト云フ國家ハ日本帝國ニ對シテ金ヲ差出シテ宜イト信ジテ御出デニナル、ソレヲ受ケテ宜イト云フ御答辯デアリマス、是ハ私ハ是以上ノ批評ハ致シマセヌ、只今ノ御辯明ヲ拜承致シマシテ、篤ト研究致スコトニ致シマシテ、此問題ニ付テハ私ハ一時是レデ止メマス、更ニ私稅制ニ付テモ質問致シタイノデアリマスガ總テ一ツ留保致シマシテ、最後デ宜シウゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員長 承知致シマシタ

○森田委員 總理大臣ガ幸ニ御出席ニナッテ居リマスカラ、午前中大藏大臣ニ御尋シタ點ヲ一點ダケ總理大臣ニ御確メシタイト思ヒマス、此臨時利得稅ヲ新設ニナリマス

ル理由ハ、本會議ナドデハ餘リ要ヲ盡シテ居ラヌノデアリマスガ、負擔ノ公平ヲ期スル爲デアルカ、財源ヲ得ル爲デアルカ、其何レデアルカト云フコトヲ一ツ總理大臣カラ承リタイト思ヒマス

○岡田國務大臣 臨時利得稅ヲ設ケマシタ理由ハ、觀方ニ依ッテハ負擔ノ均衡ト云フヤウナコトニモ見ラレルト思ヒマス、併ナガラ政府トシテハ單ナル負擔ノ均衡ト云フダケノ理由デハナイノデアリマス、負擔ノ均衡ハ將來大ニ政府ハヤリタイト思ッテ居リマス、併シ是ガ全部デアルト云フヤウナ譯デハナイノデアリマス、ケレドモ觀方ニ依ッテハサウ見得ル點ガアルカモ知レヌト思ヒマスガ、政府ノ意思トシテハサウデハナイノデアリマス

○森田委員 サウスルト財源ノ一端ニスルノデアリマスガ、政府ノ目的ヲ明ニシテ貰ヒタイ、此新稅ト云フモノヲ政府ガ起ス、所謂國策トシテ新ニ此法律ヲ提案シテ吾々ニ審議セヨト言ハル、其政府ノ目的ヲハッキリト聞カシテ貰ヒタイ

○岡田國務大臣 新シイ稅ヲ起スノデアリマスカラ、目的ハ收入ニアルノデアリマス、私ハ簡單ニサウ考ヘテ居リマス

○森田委員 ソコデ私ハ午前ニモ確メテ置

イタノデアリマスガ、大藏大臣ハ負擔ノ均衡ヲ圖ル爲デモナイ、財源ヲ得ル爲デモナイ、謂ハハ軍需工業ニ依ッテ一時的ニ澤山儲ケテ居ル者トカ、貿易ヲヤッテ一時的ニ儲ケテ居ル者トカ云フ方面カラ、ソレ等ハ餘計儲ケテ居ルノデ、世間ガウルサイカラ取ラウト云フノニ外ナラヌ、其他ニ付テハ、藤井前藏相ノ話ガ出タガ、ソコ迄ハ打

チ明ケマイト云フ意味ノ御話デアッテ、今ノ總理大臣ノ御話デハ負擔ノ均衡ハ何レ將來サウ云フ方法ヲ圖リタイト思フガ、今ノ所デハ財源ノ増加ヲ期スル爲ニ、收入ヲ圖ル目的デヤッタノデアルト言ハレル、サウスルト同ジ政府部内デ、總理大臣ト大藏大臣トノ間ニ、私ハ今朝モ、亦本會議デモ聞イタノデアアルガ、其答辯ニ喰違ヒガアル、吾ガ御尋スルノハ、是ハ國民ノ負擔ヲ増加スルヤウナ重要法案デアアル、隨テ此目的ガ負擔ノ均衡ヲ期スル爲ニオヤリニナルノデアルカ、財源ノ一端ニ充テル爲ニ此稅法ヲ設ケラル、ノデアアルカト云フコトヲ明カニシテ貰ッテ、ソレカラ質問ノ要旨ニ入ッテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ午前ニ申上ゲ、總理大臣ガ御出席ガナカッタノデ、御出席ニナッタラ其事ヲ問ウテカラ進メヨウト云フ考デアリマシタガ、今ノ御答ニ依ルト、明ニ其間

ニ喰違ガアルノデアアル、サウスルト收入ヲ圖ル爲ノ稅デアルト思ッテ質問ヲ繼續シテ行クコトニ致シテ宜シイノデアリマスガ、モウ一應念ノ爲ニ御伺致シマス

○岡田國務大臣 私ハ森田君ノ御問ヲ簡單ニ取りマシテ、稅ヲ設ケル趣意ハ收入ヲ目的トスルニ違ヒナイノデアリマスカラ、收入ガ目的デアルト、斯ウ申シタノデアリマスケレドモ、此稅ハ種々ナル意味ガ含マレテ居ルノデアリマス、一方ニハ農山漁村ガ非常ニ困ッテ居ル、又各種ノ災害ガ各地ニ起ッテ居ル、然ルニ一方ニハ軍需工業其他デ巨額ノ利益ヲ得テ居ル者ガアル、人心ノ惡化ヲ防グ爲ニモ、サウ云フ所カラハ相當ノ稅ヲ取ッタ方ガ宜イト、斯ウ云フ考ヘモ多分ニ入ッテ居ルノデアリマス、今ハ御承知ノ通り赤字公債ヲ以テ賄ハナケレバ賄ヘヌヤウナ、非常ナ狀態ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ所カラ取ルノモ宜シイ、斯ウ云フ意味モ多分ニ含マレテ居ルノデアリマス、無論稅ヲ起スカラハ收入ヲ目的トシテ居ルノデアリマス

○森田委員 私ハドウモ頭ガ甚ダ惡イノデ(笑聲)要領ガヨウ掴メヌノデアリマスガ、私ノ間ハ自分デハハッキリシタ間ヒ様ヲ致シ居ル積リデアリマスガ、總理大臣ノ御答

ニ依ルト、色々ニ取レル、答辯術ノ上カラ言ヘバ上手ニ、引懸ラヌヤウニ言ヒサヘスレバ宜カラウト云フヤウナ風ニ聞エルノデアリマスガ、一體斯ウ云フ重要法案ニ付テハ、ソレダカラ私ハ最初カラ委員長ヲ通ジテ、總理大臣、大藏大臣ニハ是非トモ出席シテ貰ヒタイト云フコトヲ請求シテ置イタ、斯ウ云フヤウニ國民ノ負擔ヲ増サウト云フヤウナ、恐ラク此議會ヲ通ジテ此法案ガ、政府ノ提出スル法律案トシテハ一番重要法案デハナイカト考ヘルノデアリマス、

隨テ斯ウ云フモノヲ審議スルニハ、政府ノ此法案ヲ出シタ目的ト云フモノガハッキリシテ來ナケレバイカヌノデス、斯ウ云フ目的ノ爲ニ出シタ法律案デアアル、仍テ之ヲ審議セヨト言フコトデナケレバ要ヲ盡サナイ、マアアレヤ是ヤ色々ナ方面ノ爲デアルト云フヤウナコトヲ言ハレテハ要領ヲ得ヌ、然ラバ私ハ色々ノ方面カラ總理大臣ニ御質シテ見タイト思フガ、大藏大臣ト御一緒ニ御答辯願ッテモ結構デアリマス、今ノ總理大臣ノ御答ノヤウデアルト、收入ノ方ノ點カラモ是ハ考ヘタノデアルト言ハレタノデアアル、收入ノ方ノ點カラ考ヘタト言ハレルナラバ、他ニ財源ハ幾ラモアッタデアラウシ、ノミナラズサウスルト斯ウ云フ點

ヲ私ハ一ツ伺ヒタイ、今農山漁村方面が困
テ居ルノニ、一方軍需方面ハ好況ヲ來シテ
居ッテ儲ケテ居ルカラ、其方面カラ取ルト
云フヤウナコトモ、御答ノ中ニアッタノデ
アリマスガ、サウスレバ軍需工業ナリ貿易
事業ナリデ非常ニ利得シテ居ル方面カラ
取ッテ、サウシテ漁村ナリ農村ナリノ方面
ニ持ッテ行ッテ、之ヲ施ス——ト云ヘバ語弊
ガアルガ、匡救事業デアルトカ云フヤウナ
方面ノ使途ニ考慮ヲ置イテ、此案ヲ御出シ
ニナッタモノト考ヘラレルノデアリマスガ、
サウデアリマスカ

○岡田國務大臣 ソレハ如何様ニ御考ニ
ナッテモ差支ナイと思ヒマス、一方ハ政府
ノ收入トシテ入ッテ來ル、一方ハ政府ノ支出
トシテ出テ行クノデアリマス、收支ノ均衡
ガ之デ取レルノデアリマスカラ、此金ガ何
處ヘ行ッテ居ルト御考ナサルコトモ御自由
ダと思ヒマス

○森田委員 歳入ニ入ッテ來ルト云ハレマ
スガ、ソレハ此案ガ通レバ是カラ入ル豫定
デアル、サウシテ支出ノ方面ニ持ッテ行ケ
バ何處ヘデモ使ヘル、其通りデアリマス、
此歳入ヲ何ニ充テルカト云フコトハ、現在
デハ明ニナッテ居ナイ、デアルガ私ハ先程
總理大臣ガ仰シヤッタコトハ、其御考ハ一

體善イ事デアル、軍需關係ニ依ッテウント
利得シタ方面カラ取ッテ、本當ニ困ッテ居ル
農村ヤ漁村ノ方面ニ此金ヲ使ハウト云フコ
トデアルナラバ……是ハ使途ニ付テ私ハ後
程伺ハウト思ッテ居タガ、丁度此機會ガ一
番宜シイト思ヒマスカラ序ニ伺ヒマスガ、
此稅收入ハ豫算面ニハ三千萬圓餘出テ居リ
マス、實際ノ計算ヲ政府カラ出シタ參考書
類ニ依ッテシテ見ルト、實收ハ六千萬圓程度
アルデアリマセウ、是ハ後ニ事務當局ト質
疑應答ヲスル積リデアリマスガ、是ハ政府
ノ出シタ參考書類ヲ否定サレ、別問題、
サウデナケレバ實收ガ私ハ六千萬圓位ニナ
ルヤウニ考ヘラレマス、サウ云フ方面ノ金
ヲ、儲ケ過ギテ居ル方面カラ取ッテ、農村ヤ
漁村ノ方面ヘ持ッテ行ッテ之ヲ使フヤウニシ
ヨウ——今ハドレ程使フカ分ラヌヤウニ見
エテ居ルガ、此案ヲ審議シタ擧句ニ、之ヲ
實施シテ此金ガ入ッテ來ルコトニナルナラ
バ、サウ云フ方面カラ取ッタ金ヲ、困ッテ居
ル方面ニ與ヘヨウト云フ場合ニハ、總理大
臣ハ御異論ハナイモノト見テ宜シウゴザイ
マスカ、御同致シマス

○岡田國務大臣 サウ云フ豫算ノ技術ノ點
ニナリマシテハ、事務當局ニ御尋ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、歳入歳出ノ款項節目ヲドウ
振向ケルカト云フコトハ、豫算ノ技術ニ
入ッテ居リマスカラ、私ニハ一寸御答致シ
兼ねマス

○森田委員 私ノ御問ガ拙カッタカモ知レ
マセヌ、私ハ款項目ニ付テ御尋シタノデハ
アリマセヌ、此金ハ大體豫算ニハ三千萬餘
圓ト今年ハ出テ居ル、來年度カラハ四千萬
圓程度デアラウト仰シヤル、政府提出ノ參
考書類ニ依ルト、大體吾々ノ見ル所デハ六
千萬圓程度入ルデアラウ、其點ハ追ッテ事
務當局ト質疑應答ヲ重ネル積リデアリマス
ガ、若シ之ニ依ッテ相當金額ノ稅收入ガアッ
タ場合ニハ、アナタノ御話ノヤウニ農村ヤ
漁村ノ方面、即テ今日困ッテ居ル所ニ此金
ヲ使フ財源ニ振當テ爾御考ガアリマスカト
私御尋申上ゲタノデアリマスカラ、款項目
ニハ關係ガアリマセヌ、アナタノ思ウテ居
ラレル、最初ノ御答辯ノ趣旨ニ依ッテ御答
下サレバ結構ナンデアリマス

○岡田國務大臣 矢張私ノ伺フ所デハ技術
問題ニ入ルヤウニ思ヒマス、使途ヲ限定シ
テ何カ收入ヲ決メルト云フヤウナ事ガ、今
ノ日本ノ規則デ出來マスカ、ソコハ私ニハ
分リマセヌ

○森田委員 ソレハマア規則ト云フヨリ幾
多モ例ガアリマス、ドノ收入ハ何ニ充テル
ト云フヤウナコトハ、幾多ノ從來例ガアリ
マスガ、私ノ言フノハ、此金ヲ何處ニ持ッテ
行クトカ云フヤウナ事デハナイ、此稅ヲ起
ス爲ニ生ズル財源ヲ、凡ソサウ云フ程度ノ
金額ヲ、農村ナリ漁村ナリニ新ニ振向ケル
考ガ御有リニナルカナイカ、最初アナタノ
御話ニハ、軍需景氣ニ依ッテ非常ニ儲ケテ
居ル方面カラ取ッテ、困ッテ居ル方面ニ之ヲ
ヤルト云フ意味モ、此新稅ト云フモノヲ起
シタ一端デアル、アナタノ最初ノ新稅ヲ設
ケタ目的ガデス——ハッキリハシテ居リマ
セヌヨ、色々ハッキリセヌヤウニ仰シヤッタ
ケレドモ、其中ノ一端ニアナタガ此事ヲ仰
シヤッタコトハ間違アリマセヌ、隨テ其意味
ニ吾々ハ取ッテ宜イノカ、詰リ農村漁村ノ
方面ガ困ッテ居ルコトハ全クアナタノ仰シ
ヤル通りデ、其方面ニ此財源ヲ振向ケルコ
トニ付テハ御同感デアルカドウカト云フコ
トヲ聽イテ居ルノデアリマス

○岡田國務大臣 私ハ先程ノ御答ノ時ニ、
餘ッテ居ル所カラ困ッテ居ル所ヘヤルトハ申
サナカッタ、今世ノ中ヲ眺メテ見ルト、困ッテ
居ル所モアリ、餘ッテ居ル所モアルノダカ
ラ、餘ッテ居ル所カラ一部政府ノ收入ヲ求メ
ルト云フコトハ差支ナイト斯ウ申上ゲタノ
デアリマス、ヤルトカヤラヌトカ云フコト

ハ、其時ノ狀況ニ依ラスト、此處デ何トモ明言スルコトハ出來ナイト思ヒマス

○森田委員 此點ハ是レ以上申上ゲテモ、押問答ヲスルバカリデアリマスカラ、此程度ニシテ置キマス

○松村委員 今ノ總理ト森田君ノ問題ノ關聯事項デ簡單ニ總理ニ質問シタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス

○岡田委員長 許シマス

○松村委員 總理大臣ニ伺ヒマスカ、此税ノ目的理由ニ付テ、大藏大臣ト總理ノ間ニ御答辯ノ喰違ヒノアルコトハ略々明瞭ニナッテ居ルデアリマスカ、ソレハ別ト致シマシテ、只今總理ノ御答ノ收入主義ニ依ッテ本税ヲ取ル、農村ハ災害ガ相踵イデ困ル、一方ニ利益ノアル所カラ取ルコトハ人心ノ惡化ヲ防グ意味ニモナル、ソレ故ニ取レル所カラ取ルト云フ御趣旨デアッタノデアリマスカ、左様デアリマスカナラバ、本年度ノ豫算ヲ概括致シマスカナラバ、全體ノ歳出ハ昨年度ヨリ減ッテ居ル、而モ軍事費ハ昨年度ヨリモ九千萬圓内外増加シテ居ル、總豫算ノ中軍事費ノミガ殊ニ龐大ニナッテ居ルデアリマス、然ルニ農村其他ノ災害ハ、臨時豫算デ出シテ居ラレマスカ、農村救済其モノニ對スル充當費目ガ極端ニ減ッテ居

リマス、總豫算ハ昨年度ヨリ減ッテ居ッテ、軍事費ノミガ膨脹シテ居ル、而シテ此税ヲ收入主義ニ依ッテ取ルト言ハレマス、レバ、ソレハ全體ノ農村ニ對シテ、人心更ニ惡化ノ傾向ヲ持來スコトガナイカドウカト云フコトニ付キマシテ、甚シク懸念ヲ抱クモノデアリマスカ故ニ、只今ノ御答ニ付テモウ一應軍事費其他ノ全體的ノ關係ニ付テ御問ヲシタイデアリマス

○岡田國務大臣 此御問ハ豫算總會デモ屢、アッタト思ヒマス成程昨年ノ豫算ニ比較シテ御覽ニナレバサウ見エルカモ知レマセヌガ、目下ノ四圍ノ情勢ニ鑑ミマシテ、最適當トスル所ニ按配シタノデアリマスカ

○高橋國務大臣 先刻カラ承ッテ居リマスト、私ト總理大臣トノ御答ガチグハグニナッテ居ルト云フヤウナ仰セ、アナタ方ノ言ハレル所ハ、ドウモ私ノ言ウタ所ヲ本當ニ諒解サレテ居ラナイ、之ヲ分リ易ク言ヘバ、此新税ヲ設ケルコトニ付キマシテ、先刻モ申ス通り是ハ税制整理、一般ノ増税トカ、サウ云フ税法ノ方カラ論ジテ見レバ總テノ方面ニ是ハ關係ヲ有ツ、デ財政ノ方カラ言ヘバ是ハ收入ニ違ヒハナイ、新税ヲ設ケテ税ヲ取ル、財政的ニ言ヘバ是ハ收入ニナル、ソレカラ他ノ色々ナ關係ト云フコトハ、是ハ

政治的ノ問題デアル、其意味デ私ハ先般モ今朝モ申上ゲタ、此新税ト云フモノハ、單ニ國家ノ收入ヲ増スト云フ一點カラ組立ッタモノデハナイ、政治的ニ考ヘ、而シテ其結果ハドウナル、財政的ニ言ヘバ國家ノ收入ヲ増スモノニナル、サウシテ國家ノ收入ヲ増シタモノハ一般ノ收入ハ入ッテ居ル、ソレヲ今承レバ此收入ハ政府ノ豫定ヨリハ倍額ニモナルト云フヤウナ御感想デアル、サウシテ之ヲ、總理大臣ハ一時ノ景氣ノ爲ニ非常ニ惠マレテ居ル者カラ一部ノ利益ヲ納メサシテ、之ヲ困ッテ居ル者ニ與ヘルンダト云フヤウニ言ハレタガ、是モサウデナ

コトハ、能ク總理大臣ノ言ハレタコトヲ御調ニナッたら分ル、決シテサウ云フ意味デハナイ、ソレカラ今ノ御希望トシテ斯ウ私ナドニハ解セラレル、農村ガ困ッテ居ル、軍事費ト云フモノハ非常ニ膨脹シテ居ル、ソコデ軍需工業カラ取ッタモノハ政府ノ豫定デハ三千万圓乃至四千万圓、此費途ヲ限定シテ農村ノ方ニ使フ考ハナイカ、斯ウ云フ御問ノヤウデアル、大藏當局ト致シマシテハ、國家ノ一部ノ歳入ヲサウ云フモノニ限定シテ行クト云フコトハ餘程考慮セネバナラヌ、ト云フノハ若シ此税ノ爲ニ農村ガ救ハレル、ソレデ農村ニ之ヲ與ヘルト云フコト

ナラバ、其外ノ財源ヲ以テ農村ニ與ヘル必要ガナイト云フコトガ一方ニ起ル、サウ云フ窮困ナコトハ出來ナカラウト思フ、是ダケハ誤解ノナイヤウニ……

○松村委員 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ聽キマシテ一層遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、ナゼナラバ吾々ハ出來ルナラバ使途ヲ限定シタイケレドモ、必シモ使途ノ限定ハ強調致シテ居リマセヌ、ソレ故ニ只今大藏大臣ハ、此税ヲ以テ農村救済ガ出來ルナラバ他ノ財源ハ要ラナイト仰シヤッテ居リマスカ、政府ハ僅カ三千万圓ヲ計上シテ——三千万圓バカリノ金デ農村救済ノ出來ナイコトハ明瞭デアリマス、只今大藏大臣ノ御答ハ自家撞著デアリマス、三千万圓ノ金ハ、農村救済ノ一部ニハ當テ得ルケレドモ、全部ノ救済ニハ充テ得ナイノデアルカラ、他ノ財源モ勿論農村救済ノ資ニ充デルコトハ言フヲ俟タヌノデアリマス、私共ノ間ハンストスル要點ハ、使途ヲ限定セヨト云フノデハナイガ、總豫算ガ減ッテ居ッテ、軍備費ノミガ九千万圓モ増加シテ居ル、今日ノ財政狀態カラ之ヲ見マスカナラバ、農村救済ノ費用ハ、昨年ト一昨年デ二億一千萬圓ト云フ時局匡救ノ金ガアッタニモ拘ラズ、本年度ハ是ガ著シク削減サレテ居ルト云フコトニ

鑑ミテ、大局カラ之ヲ見マスルナラバ、特ニ此種ノ新稅ヲ設ケラレマスル際、更ニ一方軍事費ガ膨脹シテ居ルト云フナラバ、何故ニ農村救済ノ金ヲ極端ニ削ツタカ、ソコニ人心惡化ヲ來ス虞ナキヤ否ヤト云フ、根本的ナ、政治的ノ御考ヲ御問シテ居ルノデアリマス、只今大藏大臣ノ御答ハ、遺憾ナガラ私共ノ伺ツタ趣旨トハ大變違フ御答デア

通リデアリマス、其方面ハ今日減ジテ居ル、サウシテ一部ノ増稅ヲシヨウ、斯ウ言フ、片一方デハ此人件費ノ如キモノハ、所謂政府自ラ使フ所ノ人件費ハ約二千萬圓殖エテ居リ、事務費ガ千七百萬圓餘リデ、合計三千七百萬圓ト云フモノハ、此新稅ニ依ッテ入ル金ヨリモ、ソレヨリモ此人件費ノ方ガ三千七百萬圓カラ殖エテ居ル、事務費ガ千七百萬圓、人件費ガ約二千萬圓、詳シク言ヘバ千九百三十七萬六千三百六十八圓ト云フ人件費ガ殖エテ居リマス、一方ニハ増稅ヲシテ、國民ノ一部ニ負擔ヲ増加シヨウ、國防費モ全クドウモヤリ切レヌカラシテ増シテ行カウト言ウテ居ル時ニ、獨リ政府ノ官吏ノ給料ノミニ二千萬圓カラ増シテ行クト云フコトハドウデセウカ、其點ハ豫算ノ編成ニ當ッテ、政府當局ハドウ云フ御考デオヤリニ

○岡田委員長 前田サン、此次ハアナタノ順ニナッテ居リマスガ、陸軍大臣ガ御退席ニナッテモ宜シウゴザイマス

ナッタノデアリマセウカ、此信念ヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○岡田委員長 宜シウゴザイマス

○森田委員 總理大臣ノ答辯ナリ、大藏大臣ノ答辯ハ、今松村君ガ言ハレタ通り、アナタノ只今ノ御答辯ハ、吾々ノ質問要旨トハ

——アナタノ要旨ノ前段ハ宜イガ、後段ニ色々仰シヤラレタヤウナコトハ、言ハレヌ

○岡田國務大臣 是ハ今色々ナコトニ付テ、人件費ノ不足デ出來ナイモノガ相當ニアルト思ヒマス、農山漁村ノ更生ニ付テモ同ジコトダト思ヒマス、豫算總會デモ多クノ人カラ其點ガ指摘サレテ居リマス、例ヘバ指導員ノ問題、是ハ不足シテ居ルノデアリマス、各方面ニサウ云フ所ガ澤山アルト

デ宜イデヤナイカト思フ、ソレデ農村ノ方面ニ對シテ、總理大臣ニ一ツ斯ウ云フコトヲ御尋シテ見タイノデアリマス、昭和九年度ノ豫算ニ比シテ見マスルト云フト、土木事業費、補助費ナント云フモノニ付テ、昭和十年度ノ豫算ハ、即チ農山漁村方面ニ持ッテ行ッテ、約一億圓減ジテ居ルコトハ御承知ノ

思ヒマス、人件費ノ殖エルノモ已ムヲ得ナイト私ハ考ヘテ居リマス、適當ナリト信ジテ私ハ十年度ノ豫算ヲ組ンダノデアリマス

○森田委員 斯ウ云フ御答辯デアリマス

カ、要スルニ人件費ガ——私ノ言フノハ、農村方面ニ對スル昭和九年度ノ豫算ニ比スルト、昭和十年度ハ補助費トカ産業費トカ云フモノデ約一億圓減ッテ居ル、然ルニモ拘ラズ人件費ガ約二千萬圓、事務費デ約一千七百萬圓ト云フモノガ殖エテ居ル、農村方面ニハ前年度ニ比シテ非常ニ少イ豫算ヲ與ヘテ居ッテ、是ガ不足デアルト云フコトハ御承知ノ通りデアル、一方斯ウ云フ新稅ヲ設ケテ、收入ノ一端ニ當テマシテ、財源ノ一端ニシヨウト云フコトモ、是ハ御承知ノ通りデアル、然ルニ人件費カラ見テ見ルト、減ッテ居ルノハ年功加俸及特別加俸、休職俸、議員ノ歳費、雇員ノ給料ト云フヤウナモノ、一時賜金ト云フヤウナモノハ何程カ減ッテ居リマスガ、他ハ勅任待遇俸給ヲ初トシテ、一般ニ約二千萬圓ノ増俸ヲシテ居ル、増給ヲシテアル、斯ウ云フ風ニ農村方面ニ豫算ヲ減サナケレバナラス、國民負擔ヲ増加シナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニ處シテ、官吏ナドノ給料ヲ二千萬圓モ、事務費ノ千七百萬圓モ増サウト云フコトハ、

私ハ宜クナイコトデヤナイカト思フ、アナタハ信ジテ出シテ居ルト言ハレルガ、能ク御調ニナッテ居ラスノデヤアリマセヌカ、ソレハ本當デスカ

○岡田國務大臣 是ハ大分細カイ内容ニ入リマスガ、其細カイ所ハ政府委員カラ、事務當局カラ説明シタ方ガ宜イト思ヒマス、私ハ四圍ノ狀況ニ顧ミテ、最モ適當ト思フ所ニ按分シタニ過ギナイノデアリマス

○森田委員 事務當局カラノ答辯ハ、數字的デアッテ結構デアリマスガ、是ハ我黨デ慎重ニ調ベタノデアリマス、相違アリマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、デ私ハ總理大臣ノ信念ヲ問ウテ居ル、農村方面ニ持ッテ行ッテ一億圓モノ豫算ヲ減ジ、國民ノ負擔ヲ増加スルヤウナ、此新稅案ヲ出シテ居ルヤウナ時ニ際シテ、斯ル官吏ノ俸給ヲ増ストカ、或ハ事務費ヲ増ストカ云フヤウナコトハ、アナタハ信念ヲ持ッテ時宜ニ適シタモノデアアル、四圍ノ事情カラ是ハ必要ナモノデアルト言フダケデ宜シイノデアリマスカ

○岡田國務大臣 私ハ此十年度ノ豫算ヲ編成致シマスニ當リマシテ、節約スベキ所ハ十分ニ節約ヲシ、必要ナル所ヘハ出來ルダ

ケ豫算ヲ組ンダノデアリマス、私ハ信ズル所ニ依ッテ編成シタト申上ゲルヨリ外ニハ仕方ガナイト思ヒマス

○森田委員 サウスルト、是ハ又押問答ヲスルヤウデ、同ジコトヲ繰返サユウデアリマスガ、節約シテ豫算ヲ編成セヨト云フコトハ言ウテアルガ、セズニヤッテ居ルノハ其儘放任サレテ居ルノカ、總理大臣ノ方針トシテ、節約ヲシテ豫算ヲ編成セヨト云フ所ニ對シテ、二千萬圓近イ此給料俸給ナドヲ増シテ、豫算ヲ組ンダモノニ對シテ、是ガ四圍ノ事情ニ適シテ居ルト御覽ニナッタノデアルカ

○岡田國務大臣 私ハ適正ト見タト御答スルヨリ外ハナイト思ヒマス

○森田委員 ドウモ此問題ハ、適正ダト思ハレタデヤイカヌ、適正デアルカドウカ、モウ一ツ言ヘバ、アナタノ信念デ、サウ云フヤウニ節約ヲシテ豫算ヲ編成セヨト事務當局ニ言ウテアッタニモ拘ラズ、事務當局ハ——是ハ否マレヌデアリマセウ、千九百三十七萬六千三百六十八圓ノ、此人件費ヲ増シテ居ルコトダケハ否マレヌデアリマセウ、是ハ數字デ御出シニナッテ居ル、隨テソレダケノ給料ヲ増シテ居ルヤウナコトヲシテ居ルノニ、一面私ガ先程カラ屢、申述べルヤウ

ニ、農村方面ニハ一億圓ヲ減ジ、或ハ國民ノ負擔ヲ増スヤウナ此新稅ヲ出シテ、國民負擔ノ増加ヲ圖ラウ、是程ニシナケレバナラヌヤウナ財政狀態カラ云ウテモ、尙ホ此場合ニ、官吏ノ所謂人件費ヲ二千萬圓モ増スト云フコトガ適正ナコトデアルト思ハレルノカ、ソレガアナタノ信念デアッタカ、先程カラ言フナラバ、サウデヤナイ、節約ヲセヨト云フノガ信念デアッタヤウニ聞エル、併シアナタノ思ウテ居ラレルコト、結果ニ於テ喰違ヒガアルノデヤナイカ、隨テアナタノ御考ハ、本當ニ是ガ節約ダト云フ御考デアッタノカ、サウデナクシテ、此豫算ニ御出シニナッタコトガ適正デアルノカ、ソレヲ何レデアルカ明ニシテ貰ヘバ宜イト思ヒマス、是レ以上此問題ヲ押問答スルト云フ考ハアリマセヌガ、其何方デアルカ、前者デアルカ、後者デアルカ

○岡田國務大臣 私ニハ御問ノ趣意ガ甚ダ分ラヌデアリマス、是ハ前者デモ後者デモナイ、豫算ヲ組ム時ニ、節約スベキ所ヲ節約スルノハ、是ハ當リ前デアリマス、併シ國家ノ進運ニ資スルニ必要ナルモノハ、是ハ増シテモ仕方ガナイデアリマス

○賀屋政府委員 只今森田サンノ御尋ニ對シマシテ、政府委員ニハ御尋ガアリマセヌ

デシタガ、人件費ガ二千萬圓増シテ、甚ダ節約シテ居ラナイヤウニ見エルガト云フ御話デアリマスカラ、唯此間ノ事情ヲ一言御參考ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、豫算ハ全體デハ、今仰セノ數字ハ、私共ニハ正確ニドレニ當ルト云フコトハ分リマセヌガ、大體二千萬圓位ハ増シテ居ルコトハ、私共モ其通りト思ヒマス、但シ是ハ官吏ノ俸給ハ左様ニハ増シテ居リマセヌ、主トシテ給料デアリマス、又官吏ノ俸給モ一部増シテ居リマスガ、是ハ國防ノ爲メ、陸海軍ノ兵備ノ改善等ノ爲メ、已ムヲ得ズ増シタモノガ大部分デアリマシテ、詰リ總理ノ仰セニナリマス緊要ナ方面ニ已ムヲ得ズ増シタモノデアリマシテ、其他ノ方面ニハサシタル増加ハアリマセヌ

○森田委員 政府委員トソレヲ彼此レ押問答ヲシヨウト云フ考ハアリマセヌガ、サウ仰シヤレバ幾度デモ話サナケレバナラヌヤウニナルガ、兵備改善費其他或ハ軍備費ト云フモノハ、前年度ニ比シマシテ六千八百十萬三千二百餘圓ト云フモノガ現ニ増シテ居リマス、私ハ兵備改善ノコトヲ言フノデハナイ、人件費ダケニ互ッテ、勅任及同待遇ノ俸給以下家族扶助料ニ至ルマデノ款ニ付テノ人件費ヲ申上ゲ

タノデアリマス、隨テ本當ニ節約ヲシヨウト言ハレルナラバ、官吏諸君ニハ毎度言ウテ相濟マヌト思フノデアリマスケレドモ、官吏ヤソレカラ傭員ヲ合セテノ賞與デモ六千萬圓カラ取ッテ居リマス、アレハ到底否マレヌデアリマセウ、何時モ參考書ニ出ル官吏、傭員、傭員ニ至ルマデノ賞與ヲ合セレバ六千萬圓アル、隨テ其方面カラ、實際ニ農村ヤ漁村ガ困ッテ居ルノヲ、多少デモ政府當局者ガ認識セラレ、バ、事務當局ト雖モ、此際人件費ヲ二千萬圓増シテ取ラウナント云フコトハ、甚ダ宜クナイコトデアアル、増稅ヲシテ此方面ニ振向ケヨウ、或ハ農村方面ノ匡救ヲ前年度カラ一億圓モ減サウト云フノデアリマスカラ、人件費ノ二千萬圓ヲ増サズニ置イテモ、賞與ノ手加減ニ於テ十分ニ私ハ償ヒ得ラレルモノデアルト考ヘル、ソレニモ拘ラズ茲ニ人件費ヲ約二千萬圓増シテ此議會ニ御出シニナッタ、サウシテ一面ニハ國民ノ負擔ヲ増スヤウナ増稅ノ案ヲ出シタト云フコトハ、甚ダ宜クナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ、總理大臣ガ宜イト思ウテ居ラル、カドウカラ聽イタ次第デゴザイマス、今總理大臣ハドウモ四圍ノ事情必要アルモノハ已ムヲ得ヌ、必要アルモノハ已ムヲ得ヌデアリマセウ、是ハ必要デアルト

スレバ必要デアル、必要デナイトスレバ必要デナイ、裕リハ十分ニアル、何モ其方面ニ

差支ハナイノデアリマス、本當ニ眞面目ニ國政ノ——財政方面ナリ、經濟方面ナリヲ切

盛リシテ行カウト云フ總理大臣ニ頭ガアルナラバ、斯ウ云フ方面ニ注意ヲ爲サデ、サ

ウシテ十分ニ節約スベキモノハ節約シテ、此餘裕ガナイ時ニハ——農村方面ニ施スベ

キ餘裕ガナイ時ニハ、或ハ是ニ於テ收入ヲ圖リ、増稅ヲヤラナケレバナラス、斯ウ云フ

風ニ私ハ爲ルベキモノデハナイカト思フノデアリマス、ドウモ總理大臣ノ答辯ハ、其

點ハ何ダカ要領ヲ得マセヌ、ソコデ總理大臣ト是カラ同ジコトヲ繰返シテ居テモ要

領ヲ得ナイト思ヒマス、此點ニ對シテハ總理大臣ハ眞劍ニ御考願ヒタイ、眞劍ニ一ツ

考ヘテ——斯ウ云フ方面ニ於テ斯ウ云フコトヲシタ、斯ウ仰シヤッタ、大藏大臣モ同ジ

ヤウニ仰シヤッタ、一部ニ非常ニ儲ケテ居ル者ガ居ルカラ、此方面カラ取ッテ行クコトガ、

社會政策的意味ニ於テモ適當デアルト云フヤウナ意味デ、此稅ヲ起シタノデアルト仰

シヤッタ、サウスルト官吏ノ人件費ノ如キモノハ、今日ハ出スベキ時デアリマセヌ、

今日ハサウ云フ金額ハ節約スベキ時期デアリマス、節約スベキ時期ニ於テ、斯ウ云フ

多額ナ増加ヲスルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思フ、ダカラ政治的ニ私ハ此點ニ於テ總理

大臣ハ考慮セラルベキ餘地ガアラウト思フノデアリマス、ソレカラ今度ハ午前ノ質問

ニ戻ッテ繼續シテ行クコトニナルノデアリマスガ、負擔ノ均衡ノ問題デアリマス、負

擔ノ均衡ヲ圖ル意味ニ於テモ、此稅ハヤッタノデアルト云フ意味ノ答辯ヲ大藏大臣ガ爲

サッタ、大藏大臣ノ先程ノ此稅ヲ起シタ趣旨ノ答辯ハ、午前中ニ仰シヤッタコト、變ッテ

居リマセヌガ、總理大臣トノ間ニ喰違ヒノアルコトハ御聽キノ通り、御承知ノ通り、ソ

レカラ其處ニ於テ今度ハ負擔ノ均衡ハ、此稅カラ云フナラバ法人ト個人トニ付テ、非常

ニ個人ニ重ク法人ニ輕イ、此事ニ對シテハ主稅局長カラ仕樣ガナイト云フヤウナ答辯

ガアッタコトモ御承知ノ通り、仕樣ガナイト云フコトハ、不公平ヲ認メテ已ムヲ得ヌト

云フコトデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、サウスルト大藏大臣ニ御尋スルノデア

リマスガ、法人ハ資本ニ依ッテ儲カテ居ル——七分以上儲カテ居ル會社——法人ハ

昭和五六年度ノ平均所得ト昭和十年度ノ所得ト差引イタ差デ以テ二千圓引シテ、其

後ニ一割課稅スルト云フノデアリマス、デアリマスカラ、是ハ事業ヲ擴張スル爲ニ後期

繰延ヲ殖ヤシタリ、積立金ヲ殖ヤシタリ、或ハ拂込資本ヲ殖ヤシタリシテ居レバ、隨

テ合法的ニ儲ケガ進ンデ居デモ、資本ガ進ンデ居レバ、稅額ト云フモノハ減ッテ來ル、

是ハ明デアアルカラ宜シイ、然ルニ個人ハ昭和五六年ニヤッテ居タ事業ト、昭知十年ノ

今日デハ、事業擴張ヲ三四倍ヤッテ、其當時ノ三四倍ノ利益ガアルコトハ、臨時利得デ

ハナイデアアリマセヌカ、平生ノ利得ト同ジコトデアアリマセヌカ、隨ッテ稅率ヲ同ジ

ニスルコトハ不公平デアアリマセヌカト云フコトニ對スル主稅局長ノ答辯ハ、仕樣ガ

ナイト云フコトデアッタ、大藏大臣ハ其邊ハドウ御考ニナルカ、公正ニナルモノナラバ

——公正ニナルヤウナ方法ガアレバ、公正ナル方法ヲ採レバ宜イト思ヒマス、不公平

デモ其儘デアイト云フ考デアリマスカ、是ハ吾々ノ態度ヲ決定スル上ニ於テ、非常ニ

重要ナ點デアリマスカラ、明ニサレタイト思ヒマス

○高橋國務大臣 今ノ御問ハ稅法ノ技術ニ關スルコトデアリマシテ、私ハ今出テ居ル

モノガ絶對公正ト云フコトハ、ドウモ稅法ニ於テ出來ルカ出來ナイカ私ハ疑ッテ居ル、

併シ先ヅ凡ソ其事ニ經驗ノアル——從來カラノ知識、經驗ノアル人ガ、是ヨリ良イ方法

ガナイト見タ所決定マルノデアアルカラ、私ハ提出シテ居ル法案ハ正シイモノト認メテ

居ル、併シ其事柄ハ技術ニ關スルコトデアリマスカラ、政府委員カラ能ク説明サセタ

方ガ宜カラウト思ヒマス

○石渡政府委員 森田サンカラ御尋ガゴザイマシタ點ニ付キマシテ、更ニモウ一應申

上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ通り個人ニ付キマシテ資本金ノ計算ヲ致スコトハ、是

ハ實行上不可能ダト思ヒマス、隨ヒマシテ個人ニ課稅ヲ致シマス場合ニ於キマシテ、

ドウ致シマシテモ所得金額ノ大キイモノ、少イモノト云フコトヲ標準ニ致シマシテ、其

増シタ分ニ付テ課稅シテ行カナケレバ、他ニ方法ガナイト思ヒマス、午前中ニモ御話

ガアリマシタ通り、借入金ヲシテ自分ノ事業ヲ増シタ、大キクシタト云フモノニ付キ

マシテハ、法人ニ付キマシテモ、個人ニ付キマシテモ、借入金自體ニ付キマシテハ増

資ト見ル譯ニハ行キマセヌカラ、此點ニ付テハ法人モ個人モ同ジヤウナ狀態デアルト

存ジマス、唯法人ガ増資ヲシタト云フ場合ニ於キマシテハ、一方ハ資本金ノ計算ヲ致

シマスガ、個人ニ致シマシテモ増加致シタモノニ付キマシテハ、借入金ヲシテ増シタモノカ、又ハ自分ガ儲ケテ増シタモノカ、

此二ツグラウト思フノデゴザイマス、借入金ヲシテ増加致シタ分ニ付キマシテハ、法人モ個人モ同ジヤウナ状態デアリマス、併ナガラ自分ノ儲ヲ以テ擴張致シタ分ニ付テハ、自ラソコニ差ガ出テ來ルト思フノデアリマス、併ナガラ兎ニ角ソレハ自分ガ三四年間ニ於テ儲ケマシタモノヲ増資ニ充テマシタ分ガアリマスノデ、隨ヒマシテ之ニ課稅致シマシテモ、サウ苛酷ニ相成ル次第トハ存ジナイノデアリマス、又個人ガ必シモ皆増資ヲシテ居ルト云フモノデモゴザイマセヌノデ、個人ハ皆増資ヲシテ居ルモノシテ、茲ニ稅率ヲ個人ニ低メルト云フコトモ如何カト思フノデアリマス、稅率ノ分ト——稅率ト只今個人ノ所得ノ計算方法、法人ノ所得ノ計算方法、サウ云フモノトノ比率ハ自カラ別ノ問題デゴザイマシテ、其間ニ一方ハ増資シテ居ルカラ、個人ノ稅率ハ必ズ輕ク行クト云フ結論ハ出テ來ナインデヤナイカ、斯ウ存ジテ居リマス、先程戰時利得稅ノ話モゴザイマシタガ、戰時利得稅ノ場合ニ是ガ歩合ヲ見タト云フ點ハ、法人モ個人モ同様ニ見テ居ルノデゴザイマシテ、此點ニ關シマシテ、個人ノ資本ノ増加ト云フコトヲ考ヘテアッタモノトハ思ヘナイノデゴザイマス、法人ノ増資シタ分ニ付

キマシテ、資本金額ヲ本ニシテ見テ行ク、個人ハ所得額ノ絕對額ヲ見テ行ク、斯ウ云フコトハ、是ヨリ外ニ只今實行致スコト、シテハ考ヘ得ラレナイノデハナカラウカ、斯ウ存ジテ居リマス

○岡田委員長 一寸大藏大臣ニ申上ゲマス、今ノ問答ヲ繰返シテモ仕様ガナイヤウニ思フノデアリマスガ、森田君ノ質問ハ斯ウ云フコトダト思フ、不均衡ニナツテ居ル、ソコデ之ヲ修正スルノ法ガアレバ、ソレニ付テ大藏大臣ハ修正ニ同意カト云フ點ニ付テ質問シタ、所ガ大藏大臣ガ言フノニ、是ハ絕對ニ公平デアアルカドウカト云フコトハ、自分デモ能ク斷言出來ナイ、然レドモ是ハ技術ニ關スルモノダカラ、技術者ノ意見ヲ聽カウ、斯ウ云フ話デアッタガ、絕對ニ公平カドウカ疑ハシイモノナラバ、是ガ公平ニ直リ得ル法ガアッタナラバ、御同意ガアルカナイカト云フ、大方針ノ御返事ガアッタラ宜カラウト思フ、技術上ノ問題ハ後デ宜カラウト思フ、此大方針ニ付テノ大藏大臣ノ御答辯ガアレバ、此問題ハ是デ済ムト思フノデアリマスガ、ドウデゴザイマセウカ

○高橋國務大臣 只今申シタノハ、此法案ニ付テバカリニ言フタノデハナク、一體稅法ヲ定メル上ニ於テ、誰ガ見テモ、何處カラ見テモ、是ガ絕對ニ公平ナリト云フ結論ヲ得ルコトハ容易デナイ、難カシイ、故ニ出來ルダケノ經驗、知識ヲ用ヒテ、サウシテ是ガ出來上ッタモノダカラ、私ハ此法案ト云フモノハ正シイモノト、斯ウ認メテ居ル、ソレカラ後ノ、若シ是ガモット良イモノガアッタナラバ、ソレヲ認メルカト云フ、サウ云フ御約束ハ出來ヌ、サウ云フ出來上ッタモノヲ見テカラデナイト——初カラ此法案ガ不備デアアルカラ、モット良イモノガアルナラバ、ソレハ承諾シマス云フコトハ、自ラ不備ダト云フコトヲ認メテ出スコトニナル、ソナナ不誠意ナコトハ出來ナイト思フ、私ノ今日ノ考ハ、是ハ最上ノモノダト信ジテ出シタノデアアル

○森田委員 大藏大臣ハ最上ノモノダト仰シヤルガ、アナタハ分ラヌト先程仰シヤッタ、分ラヌカラ事務當局カラ聽イテ吳レト云フ、アナタノ頭ニ此案ガ入ッテ居ナイト云フコトヲ其時仰シヤッテ、今聽イテ居ルト、是ハ最上ノモノデアアル、間違ッチャ居ラス、公正ナモノデアアルト、斯ウ云フヤウニ仰シヤルノハ、私ハチット御話ガ違ヤセヌカト思フノデアリマス、ソコデ今ノ絕對公正ト云フ問題、斯ウ云フ風ニ大藏大臣ガ言ハレ

タノデハナイガ、稅法ト云フモノハ、一般ノ國民ニ對シテ色々ナ稅法ガアルケレドモ、是ハ負擔ガ最モ公正ニ行ハレテ居ラスト云フ風ナ意味ニ私ハ取ツタ、私ガ御尋致シテ居ルノハ、法人ト個人トノ間ニ於テ不公平ガアルト云フコトヲ私ハ申上ゲタ、此案ニ對スル法人ト個人トノ間ニ於テ差別ガ甚シイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマスカラ、アナタガ若シソレデ公平ナモノニスルコトガ出來ルナラバ、同意ヲスル考ガアルカナイカト云フ御尋ニ對シテ、今アナタハ技術者ニ聽イテ吳レ、此立法技術者ニ聽イテ吳レ、事務當局ニ聽イテ吳レ、斯ウ仰シヤル、サウシテ今ハ確信ヲ有ッテ出シタ、是ガ一番公平ナ良イモノデアアルト思フト言フ、其邊ハ一寸ヲカシクハナイデスカ

○高橋國務大臣 技術ノコトニ關シテハ、説明ヲスルノニハ、私ヨリハ事務當局ノ方が遙ニ優ッテ居ル、其點ノ知識ハ——説明ハ能ク出來ル、其意味ニ於テ言ウタ、併シ此法案ヲ出シタコトニ付テハ、是ガ最上ノモノト初カラ信ジテ居ル、何モ違ヒハナイ、私ノ言フコトニハ(笑聲)

○森田委員 サウスルト大藏大臣ト私ハ議論ハヤリマセヌ、午前中ノ答辯ハ稍、要領ヲ

得テ居ッタヤウニ思ッテ居ル、アナタハ是ハ藤井前藏相ノヤッタコトデ、之ヲ取次イデ出シタ、デスカラマア其事ニ付テハ餘リ詳シイコトハ言ハヌデ宜カラウト云フヤウナ話ダッタカラ、大藏大臣ノ本當ノ信念ニ基イテ、此増稅案ヲ出サレタモノデヤナイノデアルカラ、隨テサウ詳シク御尋シテモ私ハドウデアラウカト、實ハ御遠慮申上ゲテ居ッタ位ナンドアリマス、所ガ今度又午後ニナッテ心境ニ變化ヲ來サレタノカ、信念ヲ持ッテ之ヲ出シタノダ、間違ナイトナッテ來タノデアリマサガ、ソレハ結構デス、其違ヒノアルコトヲ私ハ責メル者デヤアリマセヌ、午前中ハ本當ニ大藏大臣ノ信念ヲ持ッテ出シタノデヤナイ、藤井君ガヤッタノデアル、ソレヲ引續イデ出シタノダト云フコトデ、藤井ガ色々ナコトヲヤッタガ、是ハブチ撒ケヌデモ宜カラウ、ソレハ私ハ御尤ダト思フ、アノ人ガ色々ナ手段方法ニ用フル爲ニヤラレタヤウニ聽イテ居ルカラ、其點ハ私ハ此處デ洗ヒ濯ヒハセヌ方ガ宜カラウト云フ考デ、其方ハ差控ヘテ居ッタノデアリマス、ソコデ進ンデ來テ、今ドウモ此立法技術者ノヤッテ居ラレル稅ノ方デ、法人ト個人トガ公平デヤナイト云フコトガ、午前中ノ質疑應答デ、大體分ッテ居ッタト思ッタガ、午後ニナッテ今

石渡主稅局長ノ答辯ヲ聽イテ見ルト、ドウモ收入額ニ依ッテ稅ヲ課ケルヨリ途ガナイト言フガ、途ハアリマス、臨時利得稅ハドウデアリマス、法人ハ百分ノ二十、個人ハ百分ノ十、サウ云フコトヲシタト云フコトハ、臨時利得稅ニ於テ私ガ申上ゲルヤウニ、法人ノ方ハ儲ケタ金デ増設シタモノハ、今度ノ利得稅ヲ取ッテモ宜イデヤナイカト石渡君ハ今言ハレタガ、サウデヤアリマセヌ、儲ケタモノハズット所得稅ヲ拂ッテ來タモノデス、色々ナ所得稅ナリ、營業收益稅ナリヲ拂ッタモノヲ以テ、ソレガ積立金トナッテ居リ、後期繰越金トナッテ居ルモノヲ以テ、増設計畫ヲ法人ガヤッテ居ルモノデアル、即チ拂込資本ト同等ノ價值ヲ有スルモノデアリマス、又増資シタモノモアリマセウ、或ハ未拂込株金ヲ拂込シタモノモアリマセウ、サウ云フ資本ヲ對象ニシテ儲ケタ額ヲ七朱デ抑ヘテ行ク、一割モ二割モ儲ケテ居ル者ハ、昭和五六年ノ利益ノ率ヲ抑ヘテ、十年度ノ利益ヲ其處ニ持ッテ行ッテ課稅シヨウト云フノダケレドモ、斯ウ云フ譯デ法人ノ方面ハ稍、好イ勘定ヲシタ時ニ、法人ガ色々ノ税金ヲ拂ッテ、儲ケタモノヲ以テ増設シタモノナラバ、ソレヲ認メテ、資本金トシテ認メテヤッテ、個人ガ儲ケタ金ヲ以テ税金

ヲ、收益稅ナリ所得稅ヲ拂ッタ残りノ金ヲ以テ、事業ノ擴張ヲシテ儲ケタ利益ハ認メヌト云フノハ、ソレハ一體何處カラサウ云フ考ガ起ルカ、其處ガ合法的デナイ、アナタハ頭ハ能ク分ッテ居ル筈デアルト思フガ、外ノ人ナラバ兎モ角モ、アナタガ是ガ分ラヌト云フコトデアレバ、ソレハ本當ニ困ッタコトデ、ドウ云フ稅ヲヤラレルカ分ラヌ、法人ノモノニ對シテハ、色々ノモノデ儲ケタ後ノ金ヲ以テ増設、新設ヲシテ行ク、ソレハ即チ形ハ後期繰越金若クハ積立金トナッテ、資本金ト同等ニ迎ヘル、隨デ七分ノ利益ヲ見ナイ有様デナケレバ臨時利得稅ハ課ケナイ、個人ハサウ云フ税金ヲ——儲ケタ後ノ滓ヲ以テ増設ニ振向ケタモノニ向ッテハ、ソレハ資本金トハ認メヌ、即チ是ハ臨時利得ト見ル、斯ウ云フコトハドウ云フ所カラ出テ來ルノデアリマスカ、眞劍ニ間違ナイ所ヲ話シテ戴キタイ

○石渡政府委員 森田サンノ御話ハ、法人ニ付テハ資本金ヲ見テ行ク、個人ニ付テハ資本金ヲ見ナイ、是ハ違ヒデヤナイカ、兩方ノ負擔ノ不公平ガ起ル所以デナイカト云フ御尋ト思フノデアリマス、是ハ法人ニ付キマシテハ、資本金ヲ見テ、ソレニ對シテ課稅シテ行クヤリ方ヲ致シテ居リマスガ、先程申シマシタ通り、個人ニ付キマシテハ、資本金ヲ計算スルコトハ實行上難カシイノデゴザイマス、總テ從來ノ稅法モ、亦法人ニ付テハ或ル程度ノ資本金ヲ用ヒテ居リマスガ、個人ニ付キマシテハ資本金ヲ用ヒテ居リマセヌ、即チ此前ノ戰時利得稅ノ時ニ於キマシテモ、個人ニ付キマシテハ今回ト同様ナ方法ヲ以テヤッテ行ッタト思フノデアリマス、又所得稅ニシテモ、營業收益稅ニシテモ、個人ニ付テハ所得ノ絕對額ヲ採リマシテ課稅致シテ居ル次第デアリマスガ、今度ノ臨時利得稅ニ於キマシテモ、個人ニ付キマシテ資本金ヲ計算致シテ課稅致スト云フコトハ、是ハ出來ナイカラ、矢張利益額ヲ採リ、之ヲ本ニシテ課稅スルコトニ致シマシタ、此間ニ課稅ノ仕方ノ相違シテ居ル點モゴザイマス、例ヘバ一方ハ三千圓ヲ控除スル、一方ハ七分ヲ控除スルト云フヤウナ遺方モ致シテ居リマス、又個人ノ免稅點ヲ六千圓ニシテ致シテ居ルト云フヤウナ遺方ヲ致シテ居リマス、同ジヤウナ遺方ヲ致シテ居リマセヌ、其爲ニ双方ノ稅率ヲ同一ニ致サナケレバイケナイト云フ問題トハ、自ラ別ノモノト思フノデアリマス、稅率ハ法人、個人ヲ通ジマシテ、今度ハ同一ニ致シマシタ、同一ニナリマシタガ、此個人ト法人

トガ同ジ稅率デアルト云フコト、個人、法人トノ計算ト變ル所ガアルト云フ問題トハ自ラ別ノモノデアルト思フノデアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○森田委員 主稅局長ノ答辯ハ分ル人ニハ分ツデアリマセウガ、私ニハ分リマセウ、アナタハ三千圓ヲ控除シテ居ルト言フガ、何處ニシデアリマスカ、此法律ニハ利益ナキトキハ三千圓ヲ以テ平均利益トスト標準ガ定メテアルノハ、法人ノ年七朱ト云フノ同ジモノデアリマス、利益ナキモノハサウデアリマスガ、利益アルモノハ昭和五年、六年ノ平均利益ト昭和十年度ノ利益トノ差ニ持ッテ行ッテ、一割ノ課稅ヲスルト云フコトニ法律ノ原則ニハナッテ居ル、若シ個人ニシテ利益ナキモノハ、三千圓マデハアツタモノト見ヤウト云フ、此點ヲ一ツ誤解ノ無イヤウニ願ヒタイ、アナタガ御出シニナツタノダカラ、アナタハ能ク分ッテ居ル筈ナノダガ、サウスルト今仰シヤッタヤウニ、戰時利得稅ノ仕方ト同ジダト言フガ、サウデヤナイ、戰時利得稅ノ課稅ノ方法ト稍、同ジヤウニシテアル、二千圓見タカ、二割見タカノ違ヒガアル、稅率ニ於テ戰時利得稅ハ百分ノ二十、個人ハ今ノヤウナコトガアルカラ百分ノ十五ダ、是ハ御承知ノ通

リデアル、サウシテ行クト戰時利得稅ノ課稅ノ遺方ハ稍、同ジデアッタガ、率ガ法人ト個人トハ違フ、其理由ハ、法人ノ方ハ資本ヲ比較シテ見テ行ッタコトガ明デアルカラ、ソレニ對シテ最低年七朱ナリ、或ハ其他ノ資本ヲ見ルコトガ出來ルカラ、公平ニ行クノデアルガ、個人ノ方ハ資本ヲ見ルコトガ出來ヌコトハ、是ハ私モ同感デアリマス、併ナガラ資本ヲ見ルコトハ出來ヌガ、實際ニ於テハ金ヲ借入レテ増設シタモノモアラウ、又親ノ不動産ヲ動産ニ換ヘタモノモアリマセウ、昭和六年以後昭和九年ニ至ルマデ儲ケテ、收益稅ナリ所得稅ヲ拂ッタ後ノ金デ増設シテ行ッタモノモアリマセウ、隨テ昭和五年、六年ニヤッテ居ッタ設備ニ對シテ、其後ニ於テ増設ヲシタモノハ、臨時利得ノ趣旨ニ反スルデハアリマセヌカ、昭和五年、六年ガ既往ノ所得ト見テ、サウシテ貿易ナリ爲替ノ下落ニ依リ、貿易ノ方面デ儲ケタ人、軍需「インフレ」工業デ儲ケタ人ノヤウナ、臨時利得ヲシタ者ニ課稅シヨウト云フノニ、個人ハ昭和五六年當時ト同一ノ率ヲ持ッテ行クノニ、忽チ此利得稅法ニ引掛テ來ル點ガアルノハ公平デナイデハナイカ、法人トノ差ガ大變アルデヤナイカ、ソレニ對シテ是ハ不公平デアルト云フコトガ、大

體政府當局ニモ分ッテ居ルコトダト思ヒマス、サウスルト此點ニ對シテ、此案ヲ成立タセヨウト云フ信念ノ下ニハ、多少考ガアルカドウカト問フタナラバ、是ハ良イ案デアルカラ、チットモ何スル考ハナイ、良イ案デアルカナイカ、サウ云フコトハ大藏大臣ニ御聽キニナツタラ大概分ッテ居ル筈ダ、アナタガ公平ナ立場ニ立ッテ、ドッチノ考ガ公平デアルカ、判斷スレバ分ルト思ヒマス、隨テ此問題ハ、アナタハ率ガ同ジデアッタノデハ、不公平ナ課稅ニナルト云フコトヲ御認メニナリマスガ、御認メニナリマセヌカ、其點ヲ一ツ明ニシテ戴キタイ

○石渡政府委員 法人ト個人トハ稅率ヲ異ニスルト云フコトニハ、自ラ理由ガナケレバイケナイト思ヒマス、ソレデ此前ノ戰時利得稅ヲ施行致シテ居リマシタ時ニハ、今日ノ所得稅法ト大分違ッテ居リマス、例ヘバ超過所得稅ト云フモノハゴザイマセヌデシタ、又配當金ノ個人ニ對スル課稅ト云フヤウナモノモナカッタノデアリマス、又法人ニ對スル負擔ト云フモノハ、極メテ輕カッタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、茲ニ法人ノ課稅ヲ相當重クシタラドウカト云フコトデアッタラウト、今日カラ察セラレルノデアリマス、ソレデ法人ハ百分ノ二十、個人

ハ百分ノ十五ト云フ稅率ヲ以テ賦課致シタノデアリマスガ、今アナタノ仰シヤッタヤウナ例ヲ以テマシテ、直チニ法人、個人ノ稅率ヲ區別シテ、法人ノ稅率ヲ上ゲ、又個人ノ稅率ヲ下ゲルト云フコトニハ至ラナイト思ヒマス、サウ云フ理窟ハドウモ出テ來ナイヤウニ思フノデアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○森田委員 アナタノ今仰シヤッタ事デハ、何モ法人ト個人トノ稅率ヲ同率ニシナケレバナラヌト云フ理由ハ分ッテ居ナイ、法人ニ對シテハ證券ノ方面カラ入ッテ來ルモノモ收入ト見ルト云フコトハ、ソレハ當然デアリマス、所得稅法ヲ御覽ニナッテモ分ル通リ、法人ハ總收入金ヨリ總資本金ヲ差引イタモノヲ純益トスルガ、個人ノ方ハ總收入金ヨリ必要ナル經費ヲ控除シタル金額トアッテ、即チ事業上ノ總支出金トハ書イテナイ、隨テ是モ必要經費デナイト言ウテ全部引去ッタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、サウ云フ風ニシテ法人ト個人トハ、其處ガ所得稅法ニ於テ明カニナッテ居ル、アナタガ今仰シヤッタ證券配當金ト云フモノ其他ガ、總資本金ニ入ッテ居ルノハ當然デアッテ、何等不思議ナコトハナイ、資本金ノ中ニハ後期積立金モアラウ、營業資本モアラウシ、

證券モアキウ、サウ云フ點ハ資本ニ對スル議論ノ理窟ニハチットモ合テ居リマセヌ、資本ニ對シ直チニ關係ヲ有テ來ルノハ、年七分ト云フモノデアルガ、ソレニ依テ見ルト、ソレハ何等關係ガアリマセヌ、ソレデアラカラ個人ノ事業擴張ニ依ッテノ利益ノ一ツモ見ズニ、ソレヲ臨時利得ト見テ取ッテ行クト云フノガ良イカ悪イカ、是ハ吾々ト意見ノ相違デアルト云フコトニ決メテ置カナケレバナラヌ、アナタノ仰シヤタヤウニ、個人ノ儲ケタ金ヲ國庫ヘ持ッテ行ク、ソレヲ租稅ニ振向ケテハイクマイト云フノガ私ノ意見デアル、アナタハ、ソレハ見ヤウガナイカラ、利得ト見テ行クヨリ仕方ガナイト云フノガ、アナタノ御考デアル、ソレデハ公平ヲ缺クト云フコトガ答ニ出テ來ルノハ明デアリマス、ダカラ其點ハ、アナタハ其處デ御話ニナレバ時間ヲ空費シテ、皆サンニ迷惑ヲ掛ケテイケンイカラ、違フト云フコトダケヲ明カニシテ置キマス、アナタノ同率ニヤッタト云フコトガ分ラヌ、個人トシテ吾々ノ所得稅デモ、小サナ收入ヲ得タモノハ小サイ稅率、大キナ利得アルモノハ大キナ課稅ヲスルト云フコトニナッテ居ル、今度ノ稅法モサウ行クナラバ宜イ、百萬圓儲ケル人モ二千圓ナラバ、一萬圓儲ケル弱小會

社モ二千圓、八千圓程度儲ケル人間モ二千圓、何十萬圓儲ケル個人モ二千圓、是ダケハ公平デアリマセウ、サウ云フヤウナ事ヲ公平ヲ期サレルノハ、大藏大臣ノ言ハレル通りデアリマス、折角ナルナラバ——此使途ガ宜イト云フコトニナルナラバシナケレバナラヌ、斯ウ言ウテ居ルノデアラカラ、稅率ヲ變ヘテ行クト云フコトニシナケレバ、法人ニ斯ウシテ行カナケレバ取ルコトハ出來マセヌ、資本ガ多イカラ、オ前ハ多ク負擔セイト云フコトハ出來ルモノデアリマセヌ、サウ云フコトヲ御考ニナッテ居ッたら大變ナ間違デス、私ガ一人言ウテ居ッテモイカヌカラ、最後ニモウ二點ダケ御尋致シマス、是ハヤハリ事務當局カラデ結構デアリマス、此法律デハ、外地ニ住居ヲ有シテ居ッテ、内地ニ店ヲ有ッテ居ル者ニハ稅金ガ課カリマス、又内地ニ住居ヲ有ッテ居ッテ、外地デ取得ヲシテ來タ者ニハ全部課リマス、然ルニ外地ニ住居ヲ有ッテ居ッテ、外地デ儲ケタ者ニハ一文モ課カリマセヌ、此點ハ公平ヲ缺イテ居ルト思フガ、主稅局長ハ是デモ公平ダト仰シタルノデアリマスカ

○石渡政府委員 一寸一言前ノ事ニ御答致シテ置キタイト思ヒマスガ、是ハ私ノ聽キ違カモ分リマセヌノデゴザイマスガ、昭和五年、六年ノ當時カラ漸次儲ケテ來テ、其儲ケタ分ニ對シテ課稅ヲスル、斯ウ云フ御話ガアツカト思フノデアリマスガ、是ハ森田サンモ御承知ノ通り昭和五年、六年時分ニ儲ケテ來タモノニ、別ニ課稅致ス積リハゴザイマセヌ、ソレデアリマスカラ、其點私ノ聽キ違ヒダト思ヒマスガ、一言申上ゲテ置キマス、ソレカラ今ノ内地、外地ノ問題デアリマスガ、内地ニ住所ヲ有シマシテ、外地ニ支店ヲ有ッテ居リマス分、之ニハ課稅致シマス、ソレカラ外地ニ住所ヲ有シマシテ、内地ニ營業所ヲ有シテ居リマス分ニモ課稅致シマス、ソレデ其法律ノオシマヒノ方ニ二ツ三ツ條文ガ置イテゴザイマスノト、ソレカラ各種民地——植民地ト申シテハ語弊ガゴザイマスガ、各外地ニ於キマシテ各々法令ヲ制定致シマシテ、サウシテ内地ト略、同様に課稅ヲ致スコトニ相成ルト思ヒマス、唯申上ゲテ置キマスコトハ、臺灣ト樺太ハ、此方ト同様に稅法ヲ法人モ個人モ施行致シマスガ、朝鮮ト關東州トハ、是ハ法人ハ此方ト同様に稅法ヲ施行致ス積リデゴザイマスルガ、關東州ハ第三種ノ所得稅ハゴザイマセヌノデ、隨ヒマシテ昭和五年、六年當時ノ所得ヲ決メルコトハ難ヅカシイコト、思ヒマスカラ、是ハ個人ノ分

ハ施行致シマセヌ、ソレカラ朝鮮ハ昨年ヨリ個人ノ所得稅法ヲ施行致シマシタノデ、個人ノ分ハ施行致シマセヌ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 先程聽キ違ダト仰シヤッタ問題ハ其通りデス、昭和五年、六年ニ於テ稅金ヲ取殘サレタコトヲ私ハ言ヒハシマセヌ、昭和五年ノ平均所得ニ對シテ、昭和十年度ノ儲ケトノ差ニ對シテ、本年御取リニナルノダト言ウタノデアリマスカラ、其通りデアル、ソレカラ是ハ何レ他ノ同僚カラモ御聽キニナラウト思ヒマスガ、法人ニ對シテハ御承知ノ通り、現在一割以上儲ケタモノニ對シテ超過所得ヲ取ルヤウニナッテ居ル、ソレヲ七分ニシテ、二重ノ超過所得ヲ取ルヤウナ結果ニナルコトハ、御承知ナシテモ、個人ニ對シテモ、此出テ居ル稅法其儘ヲ適用シテ行カウト云フナラバ、非常ニ不公平極マルモノガ出來ルノデアルカラ、直グニ吾々ハドウモアナタノ答辯ヤ、大藏大臣ノ答辯ニ得心ヲスルコトガナリ兼ネルト思フノデアリマス、ソレカラ今又御話ノ内地ト外地ノ問題デ、私ノ言ウタコトニ對シ、朝鮮ニモサウ云フ稅法ヲ施行スル、關東州ニモサウヤル積リダ、但シ個人

ニハシナイト云フヤウナ御答デアッタノデアリマスガ、今マデ脱税ガ行ハレテ居ッタノハ、斯ウ云フ方法デ行ハレテ居ッタコトハ御承知デアラウト思フデアリマス、前ノ資本利子税デモ、第二種所得税ノ如キモノデモ、内地ト外地ニ依テ、巧ク其處ヲ利用ヲシテ脱税行爲ガ行ハレテ居ッタ、此法律デモ、全部ニ施行出來ルトカ何トカ同ジヤウナ方法デナケレバ、朝鮮トカ關東州トカ云フ所ニ住居ヲ置イテ、此方ニ來テ事業ヲシテ儲ケテモ、資本ガ審カニナラヌノデ、稅務當局ハ常ニ惱ンデ居ラレルノハ御承知デアラウト思ヒマスガ、今ノ答辯デハ未ダ十分ニ承知シテ居ラレヌノデアリマス、アノ點デハ實際課税ヲシテ居ル者ハ惱サレテ居ル、ソコデ巧ク之ヲ胡麻化サレテ脱税ヲシテ行キヨルノデアリマスガ、ソレガ今度モサウ云フ風ニ出來テ居リマスカラ、又同ジ事ヲ繰返シテ、合法的ニ脱税ガ行ハレハシナイカト云フコトヲ私ハ問ウタノデアリマ

ス

○石渡政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デハゴザイマスガ、今回ノ臨時利得税ハ營業所得ニ限ッテ居リマスノデ、脱税其他ノ取締ハ比較的容易デハナカラウカト存ジテ居リマス、只今大連又ハ朝鮮ニ居ルノガ、此方デ商賣ヲ

シテ居ッテ脱税ヲ働キハセヌカト、斯ウ云フ御話デゴザイマスルガ、此方ニ於キマシテ營業致シテ居リマス分、即チ内地カラ生ジマスル所ノ利得ニ付キマシテハ、此方デ課稅致シマス、唯朝鮮關東州ニ於キマシテ生ジマシタ個人利得ダケガ課稅ヲ受ケナイ、斯ウ云フコトニ相成ル次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○森田委員 大藏大臣ニ一點御尋シタイノデアリマス、此間本會議デ御尋申上ゲテ十分答辯ガ戴ケナカッタノデアリマス、アノ點ニ付テ一ツ御願シタイノデアリマス、私ガ本會議ニ於テ御尋シタイノハ、此税金ヲ決定スル稅務ノ第一線ニ立ッテ居ル稅務當局ニ非常ナ手不足ヲ來シテ、要スルニ徹夜ヲシテ、營業收益稅、所得稅ノ査定スル時ニハ、各稅務署ガヤッテ居ルノデアリマス、ソレハ御承知デアラウト思フノデアリマス、アナタガ御承知ナクテモ、アナタノ下ノ人ハ知ッテ居ル答デアリマス、サウ云フ風デアリマスカラ、超過所得ノ決定額、營業收益額ノ決定額等ガ非常ニ杜撰ナモノガ出來ル、私ガ此間例ヲ引イタ大阪ノ乾ノ行政裁判所ノ判決ノ結果ニ依ッテモ、半額ニ減ッタデハアリマセヌカ、是ハ即チ決定シタ當局ガ杜撰ナ決メ方ヲシタカラ、行政裁判所デ

ア、云フ風ナ半額ノ判決ヲシタノデアル、私ハ斯ウ云フ大キナ人々ノコトヲ言フノデハナイ、斯ウ云フ人ハ結局最後マデ争ウテモ、自分ノ本當ノ所得ニナルマデ争ヒ切レル、争フ所ノ金ヲ持ッテ居ル、即チ訴訟費ヲ持ッテ居ルカラソレデ宜イノデアル、其訴訟費ヲ持ッテ居ラス——稅務當局ガ營業收益額何ボ——、所得額何程ナド決定シテ來タ

モノニ對シテ、行政訴訟ヲスルマデノ費用ノナイ者ノ方ガ殆ド全部デアル、最後マデ争ウテ行クコトノ出來ナイモノガ殆ド全部デアル、斯ウ云フコトハ、決メル時ニ相當ナ慎重ナ態度ヲ持ッテ、事實ニ非ザル課稅ヲヤッテハイカヌ、稅務監督局長會議ヲ開イテ、其時ニ税金ヲ請負ハセテ歸シタリスルカラ、結局サウ云フコトニナルノデアリマス、サウ云フコトヲシテモ、實際ノ調ガ行届イテ居レバ私ハ差支ナイト思フ、ソレニハ所得調査委員ト云フモノニ對シテ權能ヲ與ヘル、諮問機關ニ止マラズ、決議機關ニデモシタラドウカ知ラン、ソレデナケレバ稅務署ニ練達堪能ナ士ヲ置イテ、即チ大學出ノ署長ガ居ルナラバ、其處ヘ持ッテ行ッテ、ソレヲ補佐シテ行クダケノ、本當ニ稅務行政ニ對シテ頭ノアル者ヲ据エテ、サウシテ人員ヲ相當ニ増シテ、人員ニ不足ノナ

イヤウニシテヤッテ行ッタラドウカ、現在ノヤウナ人ノ數ヲ以テカラニ、本當ニ間違ハヌヤウニ、其所得ノ額ヲ決メルコトハ、無理ダラウト、私ニハ見ラレルノデアリマス、然ルニ大藏大臣ハサウ見ラレヌ、アレダケノ人數デ公正ナ課稅ノ決メ方ガ出來ルト思ッテ居リマセウカ、サウデナクシテ、全ク何トカシテ第一線ニ立ッテ居ル者ヲ増シテ、人手モ増サウシ、待遇モ良クスル、サウシテ國民ノ所得ノ決定ニ當ッテ、慎重ノ態度ヲ以テ、萬間違ナイヤウニスルコトヲ期シタラ宜イト思フガドウカ、此點ニ對シテ大藏大臣ノ有ッテ居ラレル考ヲ承リタイノデアリマス

○高橋國務大臣 徵稅ノ爲ニ國民ニ只今御話ノヤウナ苦ミヲ與ヘテ居ルト云フコトハ本意デアリマセヌ、是ハ能ク考慮シナケレバナラス、且又今ノ御話ニ依リマシテモ、又豫テ聞イテ居ル所ニ依リマシテモ、何分人手ガ少イト云フコトハ始終私モ慙ヘラレテ居ル、然ルニ先刻モ話ガアッタ人件費ガ多過ギル、人件費ガ二千萬圓モ殖エテ非常ニ多過ギルト言ハレルガ、大藏省自ラ人件費ヲ増シテ他ヲ抑ヘルト云フコトハ、是ハ中難カシイ問題ガ此邊ニアリマス、併シ今ノ御忠告ハ洵ニ辱ケナイノデ能ク考慮致シ

マス

○森田委員 今皮肉ナコトヲ大藏大臣ハ仰セラレタ、人件費ガ多過ギルト云フノハ、他ノ省ニ二千萬圓モ増シテ居ルノハ多過ギルガ、大藏省モ増スナト云フノデハアリマセヌ、此中カラ大藏省ノ分ヲ御取リニナッタラ宜シイ、二千萬圓ノ増金ノ中カラ、大藏省ガ相當ニ人件費ヲ取ッテ、サウシテ此方面ノ施設ニ付テハ至急ニ御考慮ヲ願ッテ、此方面ノ確實ナ所得ノ決メ方ヲスルヤウニ希望ヲ申上ゲテ置キマス、私ノ質問ガ餘リ長クナルト御迷惑ト思ヒマスカラ、質問ヲ打切ラズニ他ノ方ニ御譲リシテ、機會ガアレバ申上ゲマス、機會ガナケレバ申上ゲマセヌ

○賀屋政府委員 先刻森田サンノ御質問ノ中ニアリマシタ御話ニ付キマシテ、私ヨリ簡單ニ申上ゲタコトガアリマスガ、少シ不徹底デゴザイマスカラ、モウ少シ補足ヲサシテ戴キタイト思ヒマス、二千萬圓ダケ人件費ガ増加致シテ居ル、陸海軍ノ方ハ又別ニ調べテアル、二千萬圓ハ陸海軍ノ以外デモアルカト云フ風ニ御話ニナッタノカ、ドウカ分リマセヌガ、サウ云フ風ニモ聽エマシタガ、私ノ方ノ調べハ増加ノ大部分ハ陸海軍デアリマス、職工給ガ約二千萬圓増加シ

テ居リマス、大部分ハソレガ海軍デアリマシテ、其外ノ俸給モ多少増加致シテ居リマスルガ、大部分ハ陸海軍デアリマス、然ラバ陸海軍ガ俸給ヲ増加シ、給料ガ増加シタト云フコトハ、無意味ニ増加シタカト云フト、決シテ左様デハナイノデアリマス、陸軍ガ國防上ノ必要カラ兵力ヲ充實スルト云フ場合ニハ、申上ゲル迄モナク兵器ノ外、人ノ要素モ具ヘナケレバナリマセヌ、人ヲ増セバ其俸給、給料ガ要ルト云フコトモ、亦已ムヲ得ナイノデアリマス、海軍ニ付キマシテモ、度々豫算總會其他デ御話ガ出デ居リマスヤウニ、新ニ艦船ガ出來マシテモ其維持費ガ足りナイ、其職員ガ豫算上揃ハナイト云フヤウナコトデハイカヌカラ、出來ルダケ揃ヘタイト云フヤウナ意味ノ御希望デアリマスカ、御感想デアリマスカアツタ場合モアリマスシ、又海軍當局モ熱心ニ御希望ニナッテ居リマスガ、ソレスラモサウ十分ト云フマデニハ、只今ノ豫算デモ參ッテ居リマセヌノデアリマス、サウ云フ風ニ、陸海軍ニ於キマシテ國防ノ充實ノ爲メ、兵備ノ改善ノ爲メ、物的要素ノ外ニ人的要素ヲ充實スル爲メ已ムヲ得ズ俸給給料ガ増ス、海軍ハ御承知ノヤウニ、艦艇ノ製造ヲ自分ノ工廠デヤッテ居リマスノガ多クア

リマシテ、其經費ハ直接一般會計ニ計上致シテ居リマスノデ、職工給ノ増加スルコトモ已ムヲ得ナイノカト存ジマス、大體昨年度モ左様デアリマスルガ、昭和十年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテモ、私共ハ仰セニナリマスヤウニ、農村其他ガ困窮ヲ致シテ居ル、ソレニ對シマシテ政府ノ必要ナル施設ハ、潤澤トハドウモ申サレナイ、此時代デアリマスルカラ、何レノ方面ノ經費モ潤澤トハ參リマセヌ、サウ云フ際ニ於テ官吏ノ人數ヲ増スト云フコトハ、極力控ヘヨウト出來ルダケハ努メテ居リマス、ソレガ員數ノミナラズ階級ヲ上ゲル、判任官ヲ奏任官ニ上ゲ、奏任官ヲ勅任官ニ上ゲルト云フコトハ、極力止メルヤウニ努メテ居リマス、其他現在ノ官吏其他ノ給料ニ付キマシテ、隨分考ヘテ見レバ不公平ナ所ガアリマシテ、増スベキ部分モアルヤウデアリマスガ、サウ云フコトヲ單純ナ道理トシテ考ヘレバ、増スベキモノニ付キマシテモ、此際ハ待遇等ニ付キマシテ彼此レ言ハナイコトニ致シマシテ、十分均衡ノ取レナイモノモ、此非常時ニ於テハ此儘ニシテ行キタイト云フ趣旨デ、出來ルダケノ努力ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、又賞與其他ノモノガ甚ダ多イ金額ニ上ッテ居ルデハナイカト云フ御

話ガアリマシタガ、是モ率直ニ申シマスト、只今ノ時ニ賞與ヲ官吏以下ノ雇傭員ニ出サナイト云フコトハ出來ナイノデアリマス、又貴族院、衆議院ニ於キマシテ、賞與、慰勞金等ニ付キマシテ、色々御非難モアリマシタガ、其御趣旨ハ大體賞與ヲ出スコトガ惡イノデハナイ、出スコトハ今ノ時勢ニ於テ已ムヲ得ナイ、唯出シ方ニ於テ遺憾ナ點ガアルカラ注意シロト云フ御話デアリマシタ、出シ方ニ付キマシテ、所謂厚薄ノ程度、均衡ト云フコトニ付キマシテハ、色々御注意ガアリマシテ、ソレハ十分ニ吾々モ改善サレルヤウニ努力致ス積リデアリマス、又官吏其他ノ給與ニ付キマシテモ、多少デハアリマスガ、過グル年ニ減俸ヲ致シテアリマスガ、官吏ハ時勢ガ良クナツタカラ直グニ俸給ヲ上ゲルトカ、惡クナツタカラ直グニ下ゲルトカ云フ譯ニ參リマセヌ、只今ノ所デ出來ルダケ儘ニ流レナイヤウニ努力ヲ致シテ居リマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○森田委員 質問ヲセヌ積リデ居ッタノデアリマスガ、今主計局長カラ御話ガアリマシタノデ一言申上ゲマス、今續々御述ニナリマシタ中ニ、段々違ッテ居ル點ガアリマスカラ申上ゲマス、賞與ヲ出スノガ惡イト云フコトハ衆議院——貴族院モサウデアリ

マセウガ、議會デ言フノデハナイ、其厚薄ノ程度ニ云々ト仰シヤッタガ、サウヂヤナイ、俸給トカ、給料トカ、其他ノ費目ノ中ノ、款項デナク目ノ中カラ色々ナモノカラ削ッテ賞與ヲ取ルノハ宜クナイ、賞與ト云フモノハ、矢張り目ヲ設ケテヤルヤウニサレタガ宜イト云フコトハ屢、聽イテ居ル、アナタガ今御話ニナッタヤウニ、アナタ方ガ御聽キニナッテ居レバ、議會デ言フテ居ルコト、アナタノ御聽キニナッテ居ル所ニ、大變ナ相違ガアルト云フコトヲ私ハ一言申上ゲテ置キマス、取ルコトガ惡イト云フノデハナイ、今日ニ於テハ已ムヲ得ヌノデアリマス、ソレヨリモ此給料トカ何トカ云フモノハ定員ダケ取ッテ置イテ、定員ノ人ヲ置カナイカラ給料ガ餘ル、ソレヲ賞與ニ分配スルノハ宜クナイ、是ハ賞與ト云フ目ヲ擧ゲテ、正々堂々ト取ラレルガ宜シイ、斯ウ云フコトヲ常ニ論ゼラレテ居ルノデアリマス、又今ノ御答ノ中ニ、人件費ハ海軍ノ職工ガ殖エテ居ルカラト云フコトガアリマシタガ、海軍ノ職工ノ増加ニ依ッテ殖エテ居ルノハ僅ニ七十萬圓デアリマス、是ハ御承知ノ通り前年度ノ千八百六十五萬八千二百七十二圓、昭和十年度ノ豫算ハ千九百二十七萬七千七百四十八圓、差引六七十萬圓ノモノデ

アリマス、此傭人及職工費ト云フモノデ、此二千萬圓殖エテ居ルノヲ、海軍ノ職工ニ被セテシマッタノデハ工合ガ惡イ、ソレハ却テアナタノ方ガ間違ッテ居ル、アナタノ言ハレル此方面ノ者ハ僅シカ貰ッテ居ナイ、ソレカラ其他ニ付テモ御話ガアリマシタガ、今言ハレタコトニ依ッテ私ハ得心ヲ致シマセヌガ、私ハ此處デアナタト議論ヲヤッテモ仕方ガアリマセヌケレドモ、アナタノ御話ノ海軍ノ職工ナドハ、全體ニ對シテ三分力四分、一割ニモ五分ニモ達セヌ増デアル、其他ハ是デ見ルト減ッテ居ルノハ本當ニ六件バカリデ、アトハ全部人件費ハ増シテ居リマス、ソレデアアルカラ本當ニ節約シテ居ルトハ申サレヌ、ソレカラ官吏ガ先程減俸サレタ儘デアルト仰シヤイマシタガ、アレハ何級俸——百圓以上、取ル人ヲ何分引クトカ云フコト、ソレハ其通りデアリマセウガ、其當時減ラサレテカラ皆給料ハ上ッテ居リマス、説明者自身モアノ當時カラ上ッテ居ラレルト思フ、其方デ上ゲデアルカラ同ジコトデス、ソナコトハ素人ノ前デハ宜イケレドモ、此方ノ前デハ間ニ合ハヌノデアリマス

○賀屋政府委員 只今森田サンノ御話デアリマスルガ、賞與ニ對シテハ費目ノ中ニ豫メ項目ヲ設ケテヤレ、斯ウ云フ趣旨デアリマシテ、ソレヲ忘レテ居ルデハナイカト云フコトデアリマス、私ノ申上ゲヤウガ足リマセヌデシタガ、ソレハ承知致シテ居リマス、唯實質的ニ今ノ程度ノ金額デ行クト云フコトハ、別ニ御非難ガナイと思ヒマス、其點ニ於テハ節約ノ餘地ガアルカナイカト言ハレマス、ナイト云フノデハアリマセヌガ、特ニサウセヌデモ差支ナイと思ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ職工給ノ御話ガアリマシタガ、是ハドウモ御調ト私ノ方ノ調ト違フヤウデアリマス、其外ニ増シテ居ルモノガアルカ、アリマス、今ノ俸給ガ増シテ居リマスカラ、私ハ先刻俸給ノ點ヲ申シマシタ、ソレカラ尙ホ減俸シテ居ルガ、其後昇給シタカラ同ジデヤナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ豫算經理ノ實狀ヲ御覽下サイマスト明白ニ分ラウト思ヒマス、減俸シマシテ、ソレニ應ズルヤウニ平均給ト云フモノヲ豫算ニ落シテアリマスルカラ、ソレハ其人ハ昇給シマス、或ル個人ハソレカラ昇給シテ居リマス、併シ減俸時代ニ於テソレガ減俸サレナカタラ、其昇給ハ現在ヨリモモット餘計俸給ハ上ッテ居ル、ソレデアリマスカラ嚴格ニ是ハ實行シテ居リマス、尙ホ俸給ノ經理ガ苦シクナリ

マシテ、昇給ノ時期其他モ隨分前ヨリハ遅レテ居リマシテ、其點ハ減俸ノ效果ト云フモノハ、官吏ニハ氣ノ毒デアリマスガ、著實ニ誠實ニ實行致シテ居リマス、

○森田委員 モウ是デ終リマスガ、併ナガラ私が終ラウト思フト言ハレルカラ言ハネバナラス、職工給ノ問題ハ私ノ言ッタ通り間違ヒアリマセヌ、ソレハ責任ヲ以テ申上ゲテ置キマス、ソレカラ今ノ官吏ノ給料ノ問題ハ、俸給ヲ上ゲテ行ッテ居ルカラ同ジコトデアルト言フト、イヤサウヂヤナイ、嚴重ニ實行シテ居ルト言ハレル、ソレハ五分引キトカ、一割引キトカ、嚴重ニ實行サレテ居ル、ソレハ致シテ居ラストハ申上ゲテ居ラス、併ナガラ俸給ハ上ゲテ行ク、所謂三級ノモノヲ二級俸ニスルトカ、一級俸ニスルトカ、上ゲテ行ッテ居ル、現ニ之ヲ見テモ分ルデハアリマセヌカ、雇員給ハ減ッテ居リマスガ、判任官給ハ殖エテ居ル、是ハ雇員ヲ判任官ニ切替ヘタモノデ、事實書面ノ上ニ於テ明ニナッテ居ルノデアリマスカラ、其議論ヲ私ハヤル必要ハナイと思フ、サウ云フコトヲ致シテ居レバ際限ガナイ、事實ガ二千萬圓増シテ居ルカラ、ドウ振リ向ケタニシタ所ガ、上ゲテ居ルコトハ確カデアアル、職工ノ問題ハ七十萬圓デアアル、違

フト仰シヤルガ、是ハ調ベレバ明ニナリマセウ、吾々ノ方デモ無責任ナコトハ調ベテ居リマセヌ、賞與ノコトハ大體認メテ居ルト言ハレマスガ、賞與ヲ認メテ居ル者ハ一人モアリマセヌ、賞與ト云フモノヲ審議シヨウト思ッテ貴衆兩院議員ハ出テ居ラス、給料ト云フ豫算ヲ御取リニナッテ、其定員ヲ置カズニ、剩ッタ金ヲ賞與トシテ御分ケニナッテ居ルノデアリマシテ、賞與ト云フモノヲ正式ニ計上サレルナラバ、ソレニ付テ金額ノ多少ハ論ゼラレマセウガ、現在ノ六千萬圓ハ一寸多過ギルト考ヘテ居ル、是デ私ハ終リタイ

○賀屋政府委員 モウ一言申上ゲテ置キマスガ、色々御説ノヤウデアリマスルカラ、私ハ執拗クハ申上ゲマセヌガ、減俸シテ居テモ、ドン／＼俸給ヲ増シテ居ルノダカラ、殖エテ居ルト言ハレマスガ、殖エテ居リマセヌ、昭和九年度ノ陸海軍以外ノ俸給ガ六千六百十餘萬圓、十年度ガ六千二百七十餘萬圓デ、百萬圓バカリ殖エテ居リマスガ、此中ニハ利得税ノ徴税ノ爲ノヤウナモノガ入ッテ居リマス、雇員ヲ判任官ニスルトカ、サウ云フコトヲチットモヤッテ居リマセヌノデ、ソレダケハ御了解下サイマシヤウニ、賞與ノ點ニ付キマシテモ、豫メ豫算ニ項目

ヲ上ゲナイノデ、豫算ノ御承認ヲ經テナイ、是モ能ク分ッテ居リマス、唯金額ノ程度ノコトヲ申上ゲマシタノデ、項目ニ計上ノコトニ付テハ、始終議員ノ御話ノ通り、世論モ其通りデアリマス、實情ガマダ困難デ、其處マデ行ッテナイ次第デアリマス

○太田委員 今ノ森田サンノ質問ト主計局長ノ御返事トニ關聯シテ申上ゲタイノデスガ、森田サンノ聽イテ居ル材料ト申シマスノハ、御案内ノ通り豫算ガ分リニクイモノデスカラ、私ノ方ノ政務調査會デ澤山ノ人ヲ使ヒマシテ、豫算ヲバラ／＼ニシテ、人件費、物件費、各細カイモノニ分ケマシテ、サウシテ見積ッタノガ今朝出來マシテ、ソレヲ材料ニシテ御聽キシタノデスガ、大分材料同士ノ喧嘩ノヤウデスカラ、主計局ニ於キマシテモ、今ノ不親切ナル豫算以外ニ能ク分ルヤウナ意味ニ於テ——人件費ガ増シテ居ルト云フコトハ、實ハ輿論ト言ッテモ宜イ位、世間デ言ハレテ居ルヤウニ思ヒマス、例ヘバ時局匡救費ニ致シマシテモ、誰ガ儲カッタカト云ヒマス、役人ガ大分數ガ殖エテ居ルト云フコトヲ世間デ盛ニ言フ、ソシナコトカラ吾々考ヘマシテ、又軍事費ニ付テモ色々疑義ガアリマシタノデ、ソコデ人件費ニ付テ俸給ノ區分トカ、

給與全體ノ細カイ區分マデ一切致シマシテ、サウシテ此表ヲ作テ見タノデス、作

テ見タ結果ガ千九百萬圓、二千萬圓近イ差ガ昨年ト今年トニ現レテ來タ、サウスルト森田サンガ御質問シタヤウニ、コンナニ人件費ヲ殖スナラバ、其處ニ増税ト顧ミル關係ガアルデヤナイカ、ソレガ質問ノ趣意デヤナイカト思ヒマス、私共ノ材料ニ付キマシテ、モウ一ツ政府側デ、人件費ハ斯ウ云フ狀況ニナッテ居ルト、各項目別ニ調ベラレタノヲ國民ニ示サレルコトガ、此際必要デヤナイカ、第二ニモウ一ツ私ノ感ジマシタコトハ、主税局長ノ御返事ノ中ニ、森田サントノ問答ノ中ニ、吾々ノ腑ニ落ちナイコトガアッタ、ソレハ前ニ戰時利得税ヲ御出シニナッタ時ノ税法ト、戰時利得税ノ關係ト、今日ノ税法ノ下ニ於ケル臨時利得税ノ關係ガ、ハッキリ分ラナイノデ、ソコデ色々疑義ガ起ルヤウニ存ゼラレマス、此關係ガモウ少シ明白ニナルヤウニ致サレル方ガ——何ニシテモ前ノ法律トノ比較ニナリマス、戰時利得税ニナリマスノデ、其點ヲ詳シク或ル機會ニシテ戴クコトヲ望ンデ置キタイト思フノデアリマス

○賀屋政府委員 太田サンノ御話ハ承リマシタ、出來ルダケ出シマス

○岡田委員長 成ベク早く御出シヲ願ヒマス——ソレデハ森田君ハ濟ミマシタカ

○森田委員 私ハ今日ハ是デ……

○岡田委員長 前田君

○前田委員 私ハ幸ヒ總理大臣ガ御見エニナッテ居リマスノデ、法案ニ關聯シテ國策ニ付キマシテ簡單ニ一ツダケ御同致シタウゴザイマス

〔委員長退席、松村委員長代理著席〕

先般高橋藏相ガ委員會デアリマシタカ、本會デアリマシタカ、ハッキリ御記憶ハ致シマセヌガ、財政方針ガ確立セナケレバ政策ノ樹立ハ困難デアル、斯様ニ説明ヲサレテ居ルノデアリマス、私定ニ至言デアラウト考ヘテ居リマス、然ルニ現在ノ財政ノ實體カラ見マスルト、財政ノ方針ハ確立致シテ居ラス、恐クハ後年度ノ財政計畫モ出來ナイデアラウト思ヒマス、是ハ色々事情モアリマセウガ、主ナル事情ハ軍事費ニ對シマスル後年度ノ見透シガ付イテ居ラスカラデアラウト思ヒマス、私共國防ノ安全性確保ト云フコトハ絕對認メテ居ルノデアリマス、又軍事費其モノガ相對的デアリ、四圍ノ事情ニ依ッテ變化スベキモノデアルト云フコトモ承知致シテ居リマス、併ナガラ世界ノ大局カラ見マシテ、我國獨自ノ立場ニ立ッ

テ、今日後年度ノ軍事費ノ計畫ダケハ、何トシテモ見當ヲ付ケテ置ク必要ガアラウト思フノデアリマス、高橋大藏大臣ノ御考ノ如ク、恐クハ内閣審議會方出來マスレバ、地方税制、國稅ノ一般の改正ト云フコトモ、當然ヤラナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、併シ財政ノ方針ガ確立セナイ限り、私ハ恐クハ税制ノ一般整理ト云フコトハ著手ガ出來ナイト思フ、デアリマスガ故ニ、國策ヲ樹立サレマス前ニハ、ドウ致シテモ財政ノ方針ダケハ確立シテ貰フ必要ガアラウト思ヒマス、ソレニハ先ヅ軍事費ニ對スル將來ノ見透シヲ付ケテ貰フ、現ニ先般陸軍大臣ノ御答辯デアリマシタカ、作戰資材ノ如キハ本年度ハ一億六千萬圓餘、明年度ハ千七百萬圓、是デ一段落ガ著イタノデアラウ、斯様ナ考ヲ懷イテ居ッ所ガ、戴カラ棒ノヤウニ尙ホ二千萬圓要ルノダト云フヤウナコトデ、非常ニ吾々ハ驚イタノデアリマス、斯様ナコトデハ恐クハ財政ノ方針ト云フモノハ、今後ニ於テハ立チ得ナイト思ヒマス、デアリマスガ故ニ、内閣審議會ヲ設置セラレマスル以上ハ、私ハ此場合ドウ致シテモ、我國獨自ノ立場カラ、軍事費ノ見透シダケハ一ツ付ケテ貰ヒタイト思フ、ソレデナケレバ財政ノ方針ト云フモ

ノハ確立セナイ、財政ノ見透シガ付カヌ限りハ、内閣審議會ヲ設置サレマシテモ、恐クハ國策ノ本當ノ樹立ハムヅカシイノデハナイカト思ヒマス、此點ニ關シマシテ、私ハ總理大臣ノ御所見ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○岡田國務大臣 前田君ノ今ノ御質問ハ洵ニ御尤デアリマス、其通りデアリマス、見透シガ付カナケレバ、財政ノ本當ノ確立ト云フコトハ困難デアル、併シ此見透シガ今ノ場合デハ甚ダ付キニクイ、隨テ審議會デサウ云フコトヲ審議スル上ニ、多大ノ困難ニ遭遇スルト云フコトハ、是ハドウモサウ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス

○前田委員 總理大臣仰セノ如ク、軍事費ノ見透シハ、現在ノ日本ノ立場ト致シテハ、非常ニ困難ナ事情モアリマセウケレドモ、併シ困難ダカラト言ッテ之ヲ捨テ、置キマスト、今申上ゲタ如ク内閣ノ國策樹立ニ非常ナ障礙ガ起ル、私ハ困難デハアラウケレドモ、眞ニ世界ノ大局カラ考ヘテ、サウシテ冷靜ニ一ツ御判斷ヲ願ヒマスナラバ、相當ノ見透シダケハ付ケ得ルト思フノデアリマス、併シ是レ以上御話申上ゲマシテモ、恐クハ満足シタ答辯ハ得ラレナイト思ヒマスカラ、私ハ總理大臣ニ對シマスル質問ハ

此程度デ止メテ置キマス、ソレカラ大藏大臣ニ御伺申上ゲタイト思ヒマスガ、本法ノ適用ヲ受ケマスル事業會社ノ中デ、隨分巨額ノ利益ヲ得テ居ル會社ガアリマス、而モ其會社ガ政府カラ莫大ナ獎勵金ノ交付ヲ受ケ、又補助助成ヲサレテ居ル事業モ少クナイト思フノデアリマス、一體私ハ斯ウ云フ特別ノ税金ヲ課セラレル以前ニ、サウ云フモノガアリマシタナラバ、寧ロ是ヨリ先ニサウ云フモノハ整理ヲサレマシテ、サウシテ國費ノ節約ヲサレルト云フコトガ、順序デナカラウカト思フノデアリマス、ドウ云フ事情ガアリマシタカ、マダサウ云フモノノ法律ノ改正ハ出テ居リマセヌガ、少クトモ私ハ矢張同時ニサウ云フモノニ對シテ、適當ナル整理ヲ爲サル必要ガアラウト思フノデアリマス、之ニ對シマスル大藏大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

舉ルモノヲ、其上補助スルト云コトハ宜シクナイト思ヒマス、實際ニ於テドウナッテ居リマスカ私ハ分リマセヌ

○賀屋政府委員 只今ノ前田サンノ御尋ニ付テ、個々ノ一々ノ補助ニ付キマシテハ、私モ全部承知致シテ居リマセヌ、概括的ニ申上ゲマスト、此會社ガ成立クナイカラ補助スルト云フ風ナ、一般的ノ補助ハ恐ラクナイコト、存ジマス、或ハ特殊ノ研究ヲ其會社ニ依頼致シマスコトガ非常ニ便利デアル爲ニ、其研究ニ付テハ、特ニ會社トシテ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌト云フ場合ノ補助デアリマストカ、特殊ノ新シイ製品、ソレヲ日本ノ國內ニ於テ造リマスコトガ、國策上必要デアルト云フ場合ニ於キマシテハ、會社トシテハ算盤ガ探レナイノデアリマスガ、強テ之ヲ行ハシメルト云フ風ナ場合ニ補助ヲ致シマスルコトヲ多少承知致シテ居リマスガ、大概サウ云フ種類ノモノデアリマシテ、必シモ一般的ニ會社ガ會社ノ利益ヲ増加シ、或ハ損失ヲ防グト云フコトノ補助ハナイモノト存ジマス、尙ホ具體的ニ斯ウ云フ會社ノ斯ウ云フ點ダト云フ點ガアリマシタナラバ、十分注意ヲ致シマスガ、尙ホソレニ付テ伺ヒマスレバ御答致シマス

○前田委員 獎勵金交付其他補助ノ精神

ハ、私共ハ能ク承知シテ居ルノデアリマス
ガ、併シ其後ノ會社ノ事業成績カラ徴シマ
スレバ、最早國家ガ補助スル必要ガナイ、
斯ウ云フ事業モアルノデナカラウカト存ジ
マス、只今御返事ヲ願フ必要モナイと思ヒ
マス、又適當ノ機會ニ御返事ヲ願ヘバ結構
デアリマス、更ニ御伺致シマスルガ、臨時
利得稅ハ時局ノ影響ヲ受ケテ利益ヲ受ケタ
モノニ對シテ課稅スルノデアアル、ソレガ課
稅標準ダト云フコトハ、過日本會議ニ於テ
高橋サンガ申シテ居ルノデアリマス、ソレ
ニ違ヒナイと思ヒマス、而モ實際問題カラ
考ヘマス、隨分時局ニ直接間接ノ影響ガ
ナクシテ、相當各自ノ努力ニ依ッテ、或ハ他
ノ事情ニ依ッテ相當ノ利益ヲ擧ゲテ居ル者
ガ少クナイと思フノデアリマス、私色々例
ヲ承知シテ居リマスルガ、サウ云フモノニ對
シマシテ、矢張斯ウ云フ臨時利得稅ガ課リ
マスと云フト、先般中島君ガ話シマシタ如
ク、法人ノ超過所得ト重複スルト云フヤウ
ナ嫌ガアルノデアリマス、是ハ法律ノ精神
カラ申シマシテモ、ドウモ妥當ヲ缺イテ居
ルト云フヤウナ感ガアリマス、斯ウ云フモ
ノニ對シマシテ、何カ特別ノ取扱ヲ爲スト
云フ御考ガアルノデアリマスルカ、ナイノ

デアリマスルカ、是ハ徵稅技術ノ上カラ云

ヘバ甚ダ面倒ノ問題デアリマス、併シ面倒
デアアルガ故ニ、サウ云フ妥當デナイモノニ
マデモ課稅ラスルト云フコトハ、立法ノ精
神ニモ反スルヤウナ嫌ガアルノデアリマ
ス、此點ニ付テ御所見ヲ承ッテ置キマス

○石渡政府委員

只今御尋ノ點ニ於キマシ
テハ、案ヲ起シマス時ニモ十分ニ考ヘマシ
タ問題デゴザイマスガ、何處カラ何處マデ
ガ時局ノ影響ヲ受ケタノカ、軍需品ノ利得
ニ依ッタノカ、是ガ極メテ判然致シマセヌ、
隨ヒマシテ先ヅ今日産業ノ好況ヲ示シテ居
ル原因ハ色々ゴザイマセウガ、ソレ等ノ時
局ニ於キマシテ好轉ヲ致シテ居リマスルコ
トモ、矢張自分ノ努力ト云フコトモ入ッテ
居ルト思フノデアリマス、隨テ今回ノ利得
法ニ於キマシテハ、影響ト云フコトダケニ
限定致シタノデアリマスルガ、其中ニ於キ
マシテ相當ノ儲ケガアリマスレバ、是ハ其
原因ヲ區分致サナイト云フコトニ致シテゴ
ザイマス、又ソレデアアルナラバ超過所得稅
ト重複スルノデハナカラウカト云フ御疑デ
ゴザイマスガ、併ナガラ是ハ今度ノ臨時利
得稅ハ、昭和五六年ノ當時ト比較致シマシ
テ、儲ケノ多イ分ニ付キマシテ課稅致ス
ト云フコトニ致シテ居リマスノデ、其

當時ヨリ儲ケガ少クテモ課稅ヲ受ケル所

ノ所得トハ、重複致サナイト見テ居ルノ
デゴザイマス、唯一面儲ケノ殖エマシタ
會社ニ於キマシテハ、一面ニ於キマシ
テ超過所得稅ヲ負擔シ、又臨時利得稅モ
負擔スルコト、ナリマシテ、ソレ等ノ負擔

等ヲ考ヘマシタ結果、臨時利得稅ノ稅率ヲ
比較的低ク致シテ居リマスヤウナ次第デゴ
ザイマス、左様御諒承願ヒタイと思ヒマス

○前田委員

私が申上ゲタノハ、結果ニ於
テ重複スル嫌ヒガアルト云フコトヲ申上ゲ
タノデアリマス、私ハ事實問題トシテ確ニ
サウ云フ缺陷ガアルト思ヒマス、併シ今御
話ノ如ク、是ハ徵稅技術上難シイ問題デア
リマスガ故ニ、之ヲ區別シヨウト云フヤウ
ナ無理ナコトハ申上ゲマセヌケレドモ、本
法ノ運用ニ關シマシテハ、ソレ等ノ點ニ付
テ十分慎重ナ御考慮ヲ願ヒタイと思ヒマ
ス、尙ホ引續イテ御尋申上ゲマスルガ、本
法ハ朝鮮ノ個人ニハ適用サレテ居ラヌ、其
理由ヲ承ルト、昭和五年、六年頃ニハ、朝鮮
ニハ標準トスル稅金ガ無カッタト云フコト
デアリマスルガ、課稅基準ガ無イト云フコ
トガ、朝鮮ノ個人ニ之ヲ及ボサナイ原因デ
アリマスルカ、ソレヲ一ツ御尋申上ゲマス
○石渡政府委員 朝鮮ニ於キマシテ、御承

知ノ通り所得ト云フモノハ、昨年カラ之ヲ

基準ニ致シマシテ所得稅法ヲ施行致シテ居
リマスノデ、其點ニ比較致シマスル所ノ基
準ヲ見出し難イ、隨テ課稅致シ兼ねル、斯
ク云フコトデゴザイマス

○前田委員

サウ云フ御考デアルト私ハ少
シ考ガ違フノデアリマス、寧ろ朝鮮ニ之ヲ
及ボサナイノハ、朝鮮ハ御承知ノ如ク營業
收益稅ハ昭和九年度カラヤッタと思ヒマス、
九年度カラ營業收益稅ヲ取ッタノデアルガ、
其後間モナイ今日ニ於テ、斯様ナ臨時稅ヲ
徵收スルト云フコトハ、負擔ノ過重ヲ意味
スルノデアアル、負擔ノ過重ノ上カラ朝鮮ニ
今之ヲ及ボスト云フコトハ困ル、斯ウ云フ
コトデアレバ結構デアルト思ヒマスルケレ
ドモ、課稅ノ基準ガ無イカラ之ヲヤラナイ
ト云フコトハ、ドウモ私ハ承服ガ出來ナイ
ノデアリマス、基準ガ無ケレバ、基準ハ私
ハ別途ノ方法ヲ得ルと思ヒマス、何モ
五年、六年ヲ基準トシナクテモ、他ノ方法
デ相當ナ基準ハ附クデアラウト思ヒマス
ガ、恐ラク私ハ兩方ノコトガ原因デハナイ
カト思ヒマスガ、改メテ伺ヒマス

○石渡政府委員

前田サンノ仰シヤル通
リ、一面ニ於キマシテハ、昨年ヨリ第三種
ノ所得稅ヲ施行致シマシテ、隨ヒマシテ營

業者ニ所得稅ヲ賦課スルト云フコトニナリ

マシタコトモ、確ニ一ツノ原因デゴザイマシテ、昨年營業所得ニ課稅ヲ致シテ、今年更ニソレノ所得稅ヲ課ケルト、一般ニ非常ニ過重ナ感シヲ與ヘルト云フコトモ、確ニ一ツノ原因デゴザイマス、私其點ヲ申シ遅レマシタコトヲ訂正致シマス

○前田委員 本案ノ要領ノ三デアリマス、

此問題ハ森田君モ申上ゲタコトガアリマス、個人ハ一律ニ三千圓ヲ控除スル、法人ハ現今ノ資本ガ増スト、ソレダケノ率ガ丁度控除スベキ分ガ殖エルコトニナル、私ハドウ考ヘテモ是ハ不公平ダト思ヒマス、ソコデ只今御説明ヲ聽クト、個人ニハドウモ資産調ガ出來ヌカラ、已ムヲ得ズ大體其邊デ置イタノダト云フ御話デアリマスルケレドモ、既ニ不公平ダト云フコトガ明ニ分リマス以上ハ、此三千圓ノ金額ニ付テハ、私相當考慮サレベキ餘地ガアルノデハナイカト思フノデス、或ハ個人ニ付テ多少無理ガアルト云フナラバ、此三千圓ヲ少し上ゲルコトガ必要デアルト思フノデアリマスルガ、大體政府ハ不公平デハアルガ、個人ノ資産調ガ出來ナイカラ、大體三千圓ノ程度デ止メタノダ、三千圓トシタノダ、斯ウ云フコトデアリマスルカ、モウ一度ハッキリ

御説明ヲ願ヒマス

○石渡政府委員 個人ニ付キマシテ資本金

ノ計算ノ實行上不可能ニナルコトハ、十分御諒察願ヘルト思フノデアリマス、隨テ今日ノ課稅ガ個人ニ付キマシテモ、所得稅ニシテモ、營業收益稅ニシテモ、皆其絕對額ヲ標準ニ致シマシテ、其増減ニ依リ課稅致シマスコトハ御承知ノ通りト思ヒマス、隨テ法人ノ課稅ト個人ノ課稅ト、其點ニ於テ趣ヲ異ニシテ來ルコトハ、是ハ已ムヲ得ヌモノト思フノデアリマス、必シモ個人ニ酷デアリ、法人ニ寛デアルト云フコトハ言ヘナイダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ只今御尋ノ三千圓ヲ控除スルト云フコトガ酷デハナイカト云フ御尋デアリマスガ、此三千圓ニ付キマシテモ、如何ニ此標準ヲ置イタラ宜イカト云フコトニ付テハ、可ナリ考究致シテ居リマス、ソレデ先ヅ個人ニ付テハ、

第一ニ六千圓ノ免稅點ヲ置キマシテ、將來六千圓以上ノ決定ヲ受ケナケレバ本稅ハ課稅シナイ、併ナガラ將來六千圓ノ決定ヲ受ケテモ、其元ノ所得ガ非常ニ少ナイ場合ニ於テハ、其少ナイ金額ヲ引イタ差額ニ課稅スルト云フコトデハ、非常ニ不利デハナカラウト云フ考カラ致シマシテ、三千圓ヨリ低イ決定ヲ昭和五年、六年ニ於テ受ケタ

場合ニ於テハ、三千圓ダケハ少タトモ引イ

テヤル、隨ヒマシテ此三千圓ヲ控除致シマシテ、サウシテ其殘額ニ付テ見テ行クト云フヤウナコトヲ致シマシタノデ、此程度デ大體個人ニ對シ苛酷ニ當ルト云フヤウナコトハナイト思フテ居ル次第デアリマス

〔松村委員長代理退席、委員長著席〕

○前田委員 能ク分リマシタ、是レ以上ハ

意見ノ相違ト思ヒマスノデ、是レ以上ノ質問ハ致シマセヌガ、本法ガ實際運用サレマスト、私ドウモ合法的ノ脫稅ガ生ズル虞ガアラウト思ヒマス、無論不正行爲ニ付テハ、相當處罰スルコトニナリマセウガ、現在ノ會社ノ財産目錄ト貸借對照表ノ作製ノ上カラ見マスルト、可ナリ合法的ノ脫稅ノ餘地ガアルデハナイカト思ヒマス、之ニ付テハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ

○石渡政府委員 合法的脫稅ト仰ッシャイ

マスト、先ヅ第一ニ考ヘラレルノハ、増資ヲ致シマシテ、其増資シタ資本ハ、其増資サレタ額ニ付テ昭和五年、六年當時ノ利廻リヲ見、其利廻リノ續イタ場合ニハ、増資ヲスルコトニ依ッテ控除サレル金額ガ多クナルト云フコトヲ以テ、脫稅——稅金ガ少クナル虞ガアル、斯ウ云フコトガ先ヅ此問題ニ付テハ考ヘラレルノデハナカラウカ、斯ウ

思フノデゴザイマスガ、此問題ニ付キマシ

テハ、昨年ヨリ斯ウ云フ點ニ付キマシテ特色言フ者モゴザイマスシ、又戰時利得稅ヲ施行致シマシタ時分ニモ、當時ノ議會ニ於キマシテ御質問ガゴザイマシタノデ、隨分考ヘテ見タノデゴザイマスガ、何レニ致シマシテモ、一時ノ臨時稅ノコトデモアリマスシ、又本稅法施行ノ爲ニ、產業界ノ當然ノ發達ノ途ヲ妨ゲルト云フコトモ如何カト存ジマシテ、此點ニ付キマシテ別ニ脫稅防止ノ規定ヲ設ケ得ナカッタ次第デゴザイマス、ソレカラ又戰時利得稅法ノ施行ノ結果カラ見マシテモ、此一、二ノ臨時稅ヲ免レル爲ニ脫稅ヲ行フ、其弊害ノ顯著デアッタト云フ事例ニ接シナカッタモノデゴザイマスルカラ、旁、此規定ハ設ケナクテモ宜イノデハナカラウカ、斯ウ考ヘマシタ次第デゴザイマス

○矢野委員 一寸今ノ主計局長ノ御答辯ニ

牽聯シテ伺ヒタイト思ヒマス、今ノ增收ノコトニ付テ一言御尋ヲ致シマス、其點ニ付テ何カ外國ニ於テ適當ナ立法例ハナイノデアリマセウカ

○石渡政府委員 外國ノ立法例ニ付キマシ

テモ研究致シテ見タノデゴザイマスガ、一ツ英吉利ニ於キマシテ新ニ増資ヲ致シマス

場合ニ於キマシテ、矢張之ヲ一定ノ利廻リ
ダケ見ル、例ヘバ新シキ資本増加ノ分ニ對
シテハ、七分ナラ七分ダケノ利益ヲ見ル、
ソレ以上ノモノハ見ナイ、斯ウ云フ法制ヲ
以テ實行シタ模様デゴザイマス、其他ノ國
ニ於キマシテハ戰時利得稅當時ノ色々ナ條
文ヲ調ベテ見タノデゴザイマスガ、ドウ
モハッキリ分ラナイノデアリマス、英吉利
ケハ斯ウ云フヤウナ條文ヲ以テヤッテ居
タ模様デゴザイマス

○前田委員 只今御話ノ如ク、一部分脫稅
ノ手段ガアルト云フコトヲ御承認ニナッ
タノデアリマスガ、私ハ其以外ニ於テモ、巧
妙ナ手段ヲ以テスレバ、脫稅ノ虞ガアルト
考ヘテ居リマスルガ故ニ、ドウカ本案ノ運
用ニ際シテハ十分御取締ヲ願ヒタイト思
ヒマス、尙本案ハ施行期間ト云フモノガナ
イノデアリマスルガ、是ハ一般的ノ稅制トハ
直接關係ナク、單獨ニ創設サレル案デア
リマスルケレドモ、國民ノ負擔カラ云フト、
矢張密接ナ關係ガアルノデアリマスルガ故
ニ、一般的ノ稅制ノ改正ヲ御ヤリニナル場
合ニハ、本案ハ當然廢止サレルノガ穩當
デナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、何カ其
點ニ付テ御考ヘナイノデスカ

○石渡政府委員 將來一般ノ稅制整理ヲ行

ヒマス場合ニ、本案ヲ廢止致シマスカドウ
カト云フコトハ、是ハ其當時ノ事情ヲ見
ケレバ、今明確ニ御答スルコトハ難カシ
ト存ジマス、併ナガラ一般的稅制整理ヲ行
ヒマス際ニ、此稅ヲドウスルカト云フコト
ハ十分ニ考ヘナケレバイケナイ問題ダ、斯
ウ存ジテ居リマス

○前田委員 私ハ大藏大臣ニ對スル質問
ハ、尙ホ將來アルカモ知レマセヌガ、本日
ノ場合ニ於キマシテハ無イノデアリマス、
私ニ關スル限リ以上ノ御答デ結構デアリマ
ス、後ハ政府委員ニ御尋ヲ申上ゲマス

○森田委員 一寸關聯シテ極ク簡單ニ承リ
タイノデアリマス、大藏大臣ノ居ラレマス
間ニ聽キタイト思ヒマス、大藏省カラ昨日
ト今日戴キマシタ參考文書ハ間違ナイダ
ラウト思ヒマスガ、尙ホ念ノ爲ニ一言御尋
シテ置キタイト思ヒマス、昭和八年度——決
算ノ濟ンデ居ルモノデアリマスガ、昭和八
年度ノ法人ノ利得額ハ十億七千七百九十四
萬九千圓ト出テ居リマス、昭和十年度ノ見
込額ハ十億三千三百四十一萬五千圓ト出
テ居リマス、間ニ昭和九年度ガ一年挾ッテ居
テ、尙且ツ四千四百萬圓ノ本年ノ見込額ハ
減收ニナルヤウニ計上シテアリマスガ、是
ハ間違ナイノデアリマスガ

○石渡政府委員 此法人數、拂込資本金額

積立金額及利益金額調ト申シマスノハ、是
ハ各稅務署カラ報告ヲ受ケマシタ數字ノ合
計額デゴザイマス、ソレデ此十億七千七百
萬ト云フ數字ト、ソレカラ昭和十年度ノ第
一種ノ所得見込金額ガ十億三千三百萬圓ト
云フコトハ、如何ニモ御不審御尤ダト存ジ
マスガ、此昭和八年度ノ十億七千七百萬圓ノ
中ニハ、例ヘバ製鐵業獎勵法ニ依リマシテ
免稅サレテ居リマスル如ク、ソレカラ其他
非課稅所得ト云フヤウナモノマデ全部含ミ
マシタ數字デゴザイマス、隨ヒマシテ此數
字ハ課稅サレル所ノ所得ノ數字デハゴザイ
マセヌ、ソレカラ十年度ノ第一種所得見込
金額ノ數字ハ、課稅ノ對象ト見ルベキ數字
デゴザイマス、隨ヒマシテ十年度ノ一種ノ
所得見込金額ガ、御覽ニナリマシテ比較的
少ナイヤウニ考ヘラレタコト、存ジマス、
ケレドモ實情ハ此八年度ノ十億幾ラノ中ニ
ハ、非課稅所得ガ相當含マレテ居リマスコ
トヲ御承知願ヒタイト思ヒマス

○森田委員 苦シイ答辯ヲナサレマスガ、
私ハ此書類ニ間違ガアルカナイカラ伺ッ
タノデアリマス、ソレデハ間違ガアルト云フ
コトニ了解スルノデアリマスガ、非課稅ノ
所得ヲ茲ニ御計上ニナッテ參考ニナリマス

カ、私ハ此稅ニ付テ審議スル參考ノ爲ニ
利益金ヲ出シテ貰ッタリ、所得金額ヲ出シ
貰ッタリシテ居ルノデアリマス、ソレヲ出シ
損ヒヲ「カバー」スル爲ニ、今ノヤウナコト
ヲ言ハレルノデアラウト思ヒマスガ、是ハ
昭和八年度ノ決算ニ依リマシテモ、稅ノ收
入ハ濟ンデシマッテ居ル、隨テ此利益金額、
所得金額ガ十億七千七百萬圓デアルト云フ
コトハ決ッテ居ルト思フ、隨テ其割合ニ稅ガ
入ッテ居ル譯デアアル、隨テ非課稅、課稅セザ
ル所得金額ト云フヤウナモノガ上ッテ來ヤ
ウ筈ハナイ、ソレハ所得金額デハナイ、隨
テソレハ又稅ノ參考ニハ少シモナラナイ

○石渡政府委員 此法人數、拂込資本金額、
積立金額及利益金額調ノ八年度ノ十億何千
萬圓ト云フ數字ハ、是ハ私ノ方ノ稅務統計
ニハ取ッテアリマス數字デゴザイマス、四
年度、五年度、六年度、七年度分ハ既ニ發
表シテアリマス、八年度ハ未ダ印刷中デ發
表シテ居リマセヌガ、是ハ皆發表シテ居
リマス數字デゴザイマシテ、サウシテ之ニ
對シテハ非課稅收入其他一切含ンデ居
マス、ソレデハ一體ドウ云フ必要ガアル
カ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ
非常ニ私ノ方ト致シマシテハ重要ナコト
デアリマシテ、即チ昭和四、五、六、七、

八年當時ニ、一體拂込資本金額、積立金額ト云フモノガドレ位アリ、其利益ト云フモノガドレ位アツテト云フコトヲ見テ行ク上ニ

於キマシテハ、極メテ重要ナル表デゴザイマス、ソレデ今度ノ利得税ニモ非常ニ參考ニ致シマシタノデ、或ハサウ云フ參考上御必要カト思ッテ提出致シタ次第デゴザイマス、ソレカラ只今第一種ノ所得ノ決定額ト申サレマシタガ、是モ御要求デ差出シテゴザイマス、八年度ノ普通所得トシテ七億八千八百萬圓、是ダケ決定シテ居リマス、此一方ノ數字ハ決定シテ税金ヲ取ツタ數字デヤゴザイマセス、是ハ其年ノ景氣ヲ見テ行クト云フ數字デゴザイマス、左様御承知願ヒタイト思ヒマス、ソレデ税金ヲ取テ來マシタ數字ハ、寧ロ第一種所得決定額ト云フ所ノ、其普通所得ト云フ所ヲ御覽下サルト分リマス、是ガ決定致シタ法人ノ所得ノ額デゴザイマス

○前田委員 本案課税ノ基本タルベキ利得金ノ内容ニ付テ御伺ヲ致シマス、私今丁度表ヲ戴イタノデ、マダ一讀シテ居リマセス、或ハ表ニ載ッテ居ルカモ知レナイガ、御承知願ヒタイト思ヒマス、此利得金ノ基本數字ノ内譯ヲ一ツ御尋申上ゲマスガ、第一ハ軍需工業ニ關スル事業ノ利得金デアリマス、

第二ハ輸出工業ヨリ生ズル利得、第三ハ此ニツツ除外シタ利得金、是ハ御分リニナツテ居リマスカ

○石渡政府委員 只今御尋ガゴザイマシタ軍需工業ニ付テ、利得金額ガ幾ラデアルカ、又輸出工業ニ付テノ利得金額ガ幾ラデアルカ、斯ウ云フ御尋ハ洵ニ御尤ナ御尋ダト思ヒマシテ、本法案ヲ吾々共ガ審議致シマス初カラ、其點ニ付キマシテ專擔員ヲ以テ特色ヤツテ見タノデゴザイマスガ、實ハ其區分ニ非常ニ困ジ果テマシテ、今日ニ至ルマデ未ダ是ガ軍需工業デ幾ラ、輸出工業デ幾ラト云フ數字ハ出シテ居リマセス、總體ニ於キマシテ稅務署ニ於テ調べマシタモノハ申上ゲラレマスカ、其中ノ各品目ニ於キマシテ、是ハ軍需品工業デアル、是ハ輸出品工業デアルト云フコトガ、實ハ容易ニ斷定シ切レナイモノガアリマスカ、サウ云フ表ヲマダ用意シテ居ラナイノデゴザイマス

○前田委員 本案ハ申スマデモナク時局ノ影響ニ依ッテ利益ヲ得タ者ニ對スル課税デアルト書イテアル、隨テ吾々共ガ審議ヲ進メル上ニ於キマシテ、矢張時局ノ影響ヲ受ケタ者ノ利益金ガ分ラナイト、甚ダ審議上不便ヲ感ズルノデアリマスカ、私ハ難キヲ決シテ強ヒル譯デハアリマセスケレドモ、若

シ出來レバ何トカ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 出來ルダケ一ツ心配致シテ置キマス

○前田委員 課税額ハ本年ハ三千餘萬圓、平年度ハ四千餘萬圓トナツテ居リマスカ、額カラ考ヘルト、實際ノ利益金ハ二億數千萬圓ト云フ風ニ私共ニハ推定サレルノデアリマスガ、本體ソシナモノト見テ宜イノデアリマセウカ

○石渡政府委員 收入ノ見込ニ付キマシテハ、今日御手許ニ表トシテ差出シマシタ數字ガゴザイマス、法人ニ付テハ利得金額三億五千六百八十萬六千圓ト云フ表ヲ差上ゲタ次第デアリマスカ、其數字ヲ出シマス根據ニ付テノ御尋デゴザイマセウカ

○前田委員 若シ此處デ表示サレルコトガ出來ルナラバ、一ツ其根據ヲ明ニ願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 此見込ニ付キマシテハ、先日中村繼男サンカラ本會議ニ於テ御話モゴザイマシタガ、法人ニ付テハ昭和八年八月一日カラ昭和九年七月三十一日ニ至ル迄ノ一年間ニ於キマシテ、稅務署ニ於テ其間決定致シタ法人ノ所得ニ付テ、其内容ニ一當リマシテ、斯ウ云フヤウナ腹案ヲ以テ

課税シタナラバ、一體幾ラノ利得金額ガ出ルカト云フコトヲ稅務署ニ命ジタノデゴザイマス、其結果只今御手許ニ差上ゲテアル法律案ノ如キモノヲ基礎ニ致シテ、之ヲ計算シテ參リマスト、丁度法人ニ付テハ利益金額ガ五億三千五百一十一萬六千圓アリマテ、ソレニ三割ヲ増加スル見込トシテ、此基本ノ數字ヲ六億九千九十七萬一千圓ト押

ヘマシタ、ソレカラ昭和五六年當時ノ平均デ七分ニ達シナイモノハ、七分ト云フコトニ致シテ引イタノデゴザイマスガ、其數字ガ稅務署ノ調査デハ二億九千二百六十二萬四千圓、是ハマア一割位増スト見マシテ、三億二千八百十八萬六千圓ト致シテ、控除致シマス二千圓ノ控除ガ八百十六萬二千圓デゴザイマスガ、之ヲ一割増スモノト見テハ百九十七萬八千圓、ソレデ此六億九千萬圓カラ、其三億二千百萬圓ト八百九十萬圓、此合計額ヲ引イテ、御手許ニ配付シテゴザイマス此利得金額ヲ算出致シマシタ、是ガ先ツ平年度ニ於ケル法人ノ利得金額、斯ウ云フ風ニ見タ譯デアリマス、サウシテ初年度ガドウシテ少イカト申シマスコトハ、法人ニ付キマシテハ、是ハ容易ニ其一箇年間ニ事業年度ノ終了シタ分ニ付キマシテ決定スル譯ニ行カナイ

ノデアリマシテ、初ノ年ニ於キマシテハ、法人ノ決定ガ七割ハ済ムモノト思ヒマシテ、初年度ノ法人ノ利得金額ヲ二千四百九十七萬六千圓ト、斯ウ見積リマシタ次第デアリマス、ソレカラ個人ノ分ニ付キマシテハ、昭和九年ノ利益金額ニ増加見込ヲ五分加ヘマシタ、サウシテ引キマス方ノ平均決定金額ト控除金額ヲ二分増スモノト見マシテ、ソレヲ控除致シマシタ利得金額ガ五千四百十九萬三千圓ト云フ數字ニナッテ居リマス、個人ノ分ニ付キマシテハ、是ハ本年決定致シマシテ、其儘入ル數字デアリマスカラ、平年度モ初年度モ同ジ額ニナッテ居ル次第デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○前田委員 只今ノ御説ニ依ルト、財界ノ實情ガ此儘繼續スルトスレバ、表ニ現レテアル税額ト餘リ實收入ハ大差ナイト云フ御考デアリマスカ

○石渡政府委員 大體今日ノ此儘ノ景氣ガ持續致シマスレバ、此程度ノ收入デアラウト見テ居リマス

○前田委員 私ノ質問ハ只今申上ゲタ如ク、此時局ノ關係ニ依ッテ利益ヲ得タ其内譯ガ分リマセヌト、實ハ此點ニ付テ質問ヲ進メル譯ニ行カヌノデス、尙ホソレニ關聯シテ、實ハ陸海軍大臣ニ御尋申上ゲタイ豫定

デ居ッタノデアリマスガ、此席ニオ出デニナリマセヌガ故ニ……

○岡田委員長 サウヂヤナイデスヨ、アナタガ要ラヌト仰シヤッタカラ歸シタノデス、必要ナラバ置クンダッタニ……

○前田委員 特ニ宮中ノ關係デ……

○岡田委員長 ソレハアナタノ私事ヂヤナイデスカ、アナタガ勝手ニ御同意ニナッタノデス

○前田委員 居ラレスト云フコトハ差支ナイヂヤナイデスカ、ケレドモ宮中ノ關係デ退席シタイト云フコトデアルカラ……

○岡田委員長 何時モ要求ハ委員長ヲ通シテヤッテ貰ヒタイノダ

○前田委員 無論サウダカラ、陸軍大臣ガ居ラヌコトニ不服ヲ言ッテ居ルンヂヤナイノデス、軍需工業ニ關スル内容ガ分ラヌカラ質問ヲ繼續シ惡イ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデス、デアリマスガ故ニ此問題ハ今後ニ留保致シマスガ、此處ニ陸軍省ノ表トシテ軍需品製造會社ノ利益金トカ、利益率トカ、配當率トカ、斯ウ云フモノガ既ニ出テ居ルノデアリマス、大藏省ノ政府委員御承知デアリマスカ、之ニ依ルト利益金ハ昭和七年ガ千三百八萬六千圓、昭和八年ガ千七百二十七萬七千圓、昭和九年ガ千二

百四十三萬五千圓、但九年度ハ半期デアール、斯ウ云フコトニナッテ居ル、私ハ陸軍省ガ斯ウ云フ表ヲ御提出ニナッテ居ル以上ハ、當然大藏省デモ調べ得ルノデナカラウカト思ヒマスガ、是ガ先刻申上ゲタ如ク質問スル本筋ニナッテ居リマスガ故ニ、ドウゾ一ツ早ク御提出願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 此陸軍省ノ表ハ、生産高ノ一割以上、陸軍省デ注文ヲシテ居ル軍需品ノ製造會社ノ三十八會社ニ付テノ御調査アリマスノデ、此割合ニ達スルカト思ヒマス、實ハ一ツノ例ヲ採リマシテモ、製鐵會社ト云フモノガ果シテ軍需品工業ヘ入ルカ、或ハ又軍需品工業ニ入レナイ方ガ宜イノカ迷ッテ居ルノデアリマス、成ベク早ク注文ニ副フヤウナモノヲ拵ヘテ見タイト思ッテ居リマス

○前田委員 私ハ尙ホ海軍大臣ニモ御尋申上ゲタイノデアリマスガ、今申上ゲタ如ク質問ヲ致シマスル材料ノマダ提出ガナイノデアリマスガ故ニ、此質問ハ是デ打切りマシテ、後日ニ留保シテ置キタイト思ヒマス

○岡田委員 此際材料ノ要求ヲ一寸致シタイト思ヒマス

○岡田委員長 許シマス

○岡田委員 先刻質問ノ中ニ現ハレマシタ

通り、法人ニ課スル場合ト、個人ニ課スル場合トニ於ケル權衡問題ニ付テノ參考ニ資シタイトデアリマス、ソレガ爲ニ假ニ此法案ヲ適用致シマシタナラバ、ドウ云フ結果ヲ示スデアラウカト云フ意味ニ於テ、假設的ニ法人ト個人トニ分ケマシテ、一定ノ資本金額ヲ、例ヘバ十萬圓デアルトカ、十五萬圓デアルトカト云フヤウナ場合ヲ分ケマシテ、且又其資本金額ノ既往事業年度ニ於ケル場合ト、現事業年度ニ於ケル場合トニ於テ異動ヲ生ジタ場合ヲ假定致シマシテ、ソレ等ノ假定ノ下ニソレノ此法規ヲ適用シテ、其税額ガドウナルカト云フコトヲ、出來マスナラバ五六ノ例ニ於テ御調ヲ願ヒタイトデアリマス、私手許デ調べタノモアルノデアリマスガ、自分ノ調ガ果シテ是デ良イカ惡イカ疑ハシイ所モアリマスシ、政府當局ニ御調ヲ願ヘレバ、一番確カデアラウト思ヒマスシ、是ハ非常ニ參考ニナルト思ヒマスカラ、是等ニ關スル材料ノ御提示ヲ願ヒタイトデアリマス、第二ニハ、是ハ材料ト云ハズ、或ハ口頭デ御答辯ヲ戴イタ方ガ宜イカモ知レマセヌガ、私ハ此際質問ハ致シマセヌカラ、若シ是モ材料ニ於テ示スコトガ出來マシタナラバ、此事ニ於テモ材料ヲ御提出願ヒタイト思ヒマス、即チ個人ニ課

税スル場合ニ於キマシテ、三千圓以下ノ利益ノ場合ニ於テハ、之ヲ三千圓ニ看做スト云フ、此三千圓ヲ定メマシタ據リ所デアリマス、是ガドウ云フ據ロニ依ッテ居ルノデアルカ、私想像致シマス所デハ、或ハ是ハ一定ノ的確ナ材料ニ依ッテ定メタモノデハ

ナク、或種ノ認定ニ依ッテ決定シタモノデアラウカトハ思ヒマス、併ナガラ或ハ他ノ税法等ノ振合トカ、或ハ統計の見地カラトカ、ソレ等ノ計數等ニ基クモノガアッテ、凡ソ之ヲ以テ適當トスルト云フヤウナ事情ノ下ニ於テ推定、決定致シタモノトサレルナラ

バソレ等ニ關スル研究的ノ材料デ結構デアリマスカラ、材料ヲ御示シ戴キタイノデアリマス、同ジク又個人ノ場合ノ、六千圓以下ノ場合ニ於テハ課税シナイ、免税スルト云フ六千圓ノ抑ヘ所デアリマス、即チ據リ所デアリマス、之ニ關シテモ亦若シ是ガ他

ノ税法等ノ振合、或ハ統計的對數換算ノ上カラ來タトシマスルナラバ、ソレ等ノ諸統計等ヲ材料トシテ御提示戴キタイと思フノデアリマス、固ヨリ此公算ノ問題ハサウ云フ統計デ説明スル譯ニハイカス、斯ウ云フ

見地ニ依ッテ、認定シタノダト云フノナラバ、後日適當ノ機會ニ於テ、又口頭ヲ以テ説明下サッテモ宜シイト思ヒマスガ、能フベ

クンバ其際ニ於テ説明ノ材料ニナルヤウナ材料ヲ御提示願ヒタイと思ヒマス

○岡田委員長 龜井君材料ノ御要求ガアリマスカ— 龜井君

○龜井委員 御手數デゴザイマスケレドモ、材料ヲ頂戴シタイと思ヒマス、ソレハ第一ハ、稅務官吏ノ所得稅及營業收益稅調

査ノ理想的能率ノ程度、稅務官吏數、ソレカラ現在ノ分擔程度ト能率トノ關係、第二ハ、其理想的の調査方法デ、現在ノ營業收益稅

ノ權衡調査ヨリモ、實績調査ヲ主トシテヤルノニ、ドレダケノ配置ヲオヤリニナレバ宜イカ、其方法ヲ承リタイ、第三ハ、過去

ニ於ケル大都市ノ新設、稅務署ノ創設前後ノ稅額ノ統計的調査、大體ノ趣意ハ脫稅ガ

大分多イト思ヒマスガ、其脫稅ハ稅務官吏ノ能率ノ不足ニ大分原因シテ居ルノデヤナ

イカ、能率ノ不足ト云フノハ、個人々々ガ惡イト云フノデハナク、其規模、組織ノ點

ガ惡イノデハナイカト思フノデアリマスカ、其材料ヲ頂戴シタイノデアリマス

○松村委員 今日マデ各委員カラ提出ヲ要求シテ居リマシタ材料中、重要ナルモノガ

マダ出デ居リマセヌカラ、成ベク急イデ御提出下サルヤウニ希望シテ置キマス、例ハ

バ私カラ要求致シマシタ海外拂九年度ハマ

ダ出來テ居リマセヌケレバ、概算デモ結構デアリマス、各省別デ要求シテ置キマシタガ、サウ云フヤウナ書類ヲ成ベク速ニ御提出アランコトヲ希望シマス、尙ホ本日ハ此程度デ……

○岡田委員長 本日ハ是デ散會、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス

午後四時二十二分散會